

Secula

セキュラ

NVMS 2.0 取扱説明書



本書は Windows PC 用 Secula 遠隔視聴ソフトウェア「NVMS 2.0」の取扱説明書です。
NVMS 2.0 を使用したライブ映像視聴や録画再生について記載しております。

やりたいこと目次

区分	やりたいこと	参照先
検知感度（人や動物を感知）について	感知する日時をあらかじめ決めておきたい	スケジュールの登録 (66 ページ)
	検知したときのアラームを設定したい	アラーム連携設定 (65 ページ)
	設定したラインを通過したときに検知したい	IP カメラのメニュー＞ライン通過検知 (27 ページ)
	設定したエリアに侵入したときに検知したい	IP カメラのメニュー＞領域侵入活動検知 (28 ページ)
	検知したときの E メールアドレスを設定したい	E メール設定 (69 ページ)
録画について	手動で録画したい（動画）	手動録画 (47 ページ)
	手動でスナップを撮りたい（静止画）	スナップショット (44 ページ)
	録画する日時をあらかじめ決めておきたい	スケジュール録画 (47 ページ)
	録画の設定を変更したい	デバイスの設定 (20 ページ)
	バックアップしたい	バックアップ (56 ページ)
録画再生について	録画したデータを再生したい	録画再生 (50 ページ)
	再生開始時間を指定して再生したい	クイック再生 (52 ページ)
カメラについて	双方向で話をしたい	同時通話開始 (46 ページ)
	ライブビューの画面をカスタマイズしたい	画面モード設定 (39 ページ)
	ライブビューの画面を拡大・縮小したい	映像表示コントロール (42 ページ)

目次

1. NVMS 2.0 のインストール／アンインストール	5
1.1. NVMS 2.0 をインストールする	5
1.2. NVMS 2.0 をアンインストールする	7
2. ログイン	9
2.1. ログイン	9
2.2. メインメニューインターフェース概要	12
3. 端末管理	15
3.1. デバイスの追加	15
3.1.1. かんたん追加	16
3.1.2. 手動追加	17
3.2. デバイスの編集と削除	19
3.3. デバイスの設定	20
3.4. デバイスグループ	32
3.5. チャンネルグループ	33
3.6. タスク	35
3.7. 録画サーバと映像サーバ	36
4. ライブ表示	37
4.1. ライブビュー	37
4.1.1. 画面モード設定	39
4.1.2. デバイスグループ映像表示	39
4.1.3. チャンネルグループ映像表示	40
4.1.4. プリセットビュー	41
4.2. 映像表示コントロール	42
4.3. スナップショット	44
4.3.1. スナップショット	44
4.3.2. スナップショット設定	44
4.4. マルチスクリーン映像表示	45
4.5. PTT 通話開始	45
4.6. 同時通話開始	46
4.7. 手動アラーム出力	46
5. 録画再生	47
5.1. 録画構成	47
5.1.1. 手動録画	47
5.1.2. スケジュール録画	47
5.1.3. アラーム連携設定	49
5.2. 録画再生	50
5.2.1. 録画の再生	52
5.2.2. クイック再生	52
5.2.3. 同期再生	53
5.2.4. 非同期再生	53
5.2.5. タイムスライス検索	54

5.2.6. イベント検索	55
5.2.7. タグ検索	55
5.2.8. バックアップ	56
5.2.9. イベント画像検索	57
5.2.10. サーバ録画設定	57
5.2.11. スケジュール登録	58
6. データダッシュボード	59
6.1. インテリジェントダッシュボード	59
7. 人物管理	60
7.1. パーソナル&ビークルマネジメント	60
7.2. 人物データの同期	62
8. ユーザーアカウント設定	63
8.1. User/Role	63
8.2. オンラインユーザ管理	64
9. アラーム設定	65
9.1. アラームログの参照	65
9.2. アラーム連携設定	65
9.3. スケジュールの登録	66
9.4. 手動アラームの出力	66
9.5. SOP（アラーム対応手順）項目の設定	67
9.6. アラームタスク設定	68
9.7. Eメール設定	69
10. ターゲット検索	70
10.1. ターゲット追跡	70
10.1.1. 追跡リスト表示	70
10.1.2. Eマップ追跡表示	70
10.2. 照合結果検索	71
10.3. スナップショット検索	72
11. 流動監視と統計	73
11.1. リアルタイム流動監視	73
11.2. ヒートマップ表示	74
11.3. 流動レポートの作成	75
11.4. 流動制御	75
12. 運用とメンテナンスの管理	76
12.1. ログ検査	76
12.2. 設定のバックアップと復元	76
12.3. リアルタイムステータス	77
12.4. ステータスログ	77
13. ローカル設定	78
13.1. システムの起動とメンテナンス	78
13.1.1. 基本設定	78
13.1.2. Resource Tree Config(デバイスツリー設定)	78

13.1.3. ローカル保存設定	79
13.1.4. アラーム音の選択	79
13.1.5. アラームビュー設定	80
13.1.6. システムリソース使用設定	80
13.1.7. OSD の表示位置設定	81
13.1.8. POS 構成	81
13.1.9. Snapshot Attribute Display Setting(スナップショットの属性表示設定)	82
13.2. システム設定	82
13.2.1. システム設定	82
13.2.2. アラーム設定	83
13.2.3. 音声アップロード	83

■ 推奨動作環境

CPU	Intel Core i5 7500 (3.0GHz) 以上
メモリ	16GB 以上
グラフィック	Intel HD Graphics 530 (2GB 以上) または NVIDIA GeForce GTX 1060 (6GB 以上) 以上 ※マルチディスプレイ環境では 2GB 以上の GDDR5 メモリを有する GPU を推奨
ストレージ	500GB 以上
ネットワーク	ギガビット対応 NIC
OS	Windows 11

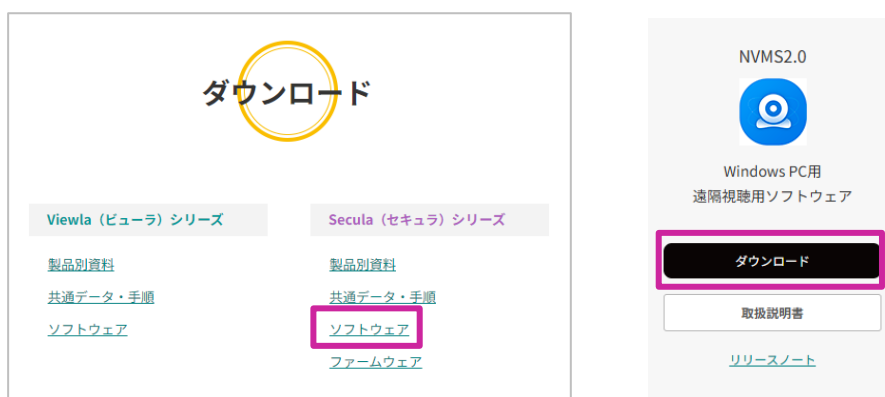
1. NVMS 2.0 のインストール／アンインストール

1.1. NVMS 2.0 をインストールする

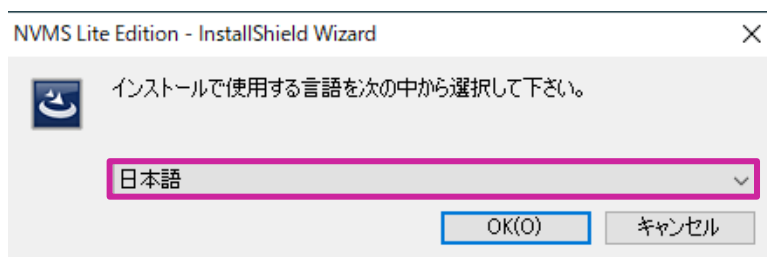
すでに旧バージョンの NVMS 2.0 がインストールされている場合、先に旧バージョンの NVMS 2.0 をアンインストールしてください。（「1.2 NVMS 2.0 をアンインストールする」を参照）

※NVMS 2.0 インストール後、アカウント設定を行うとアプリバージョンのダウングレードが行えなくなります。あらかじめご注意ください。

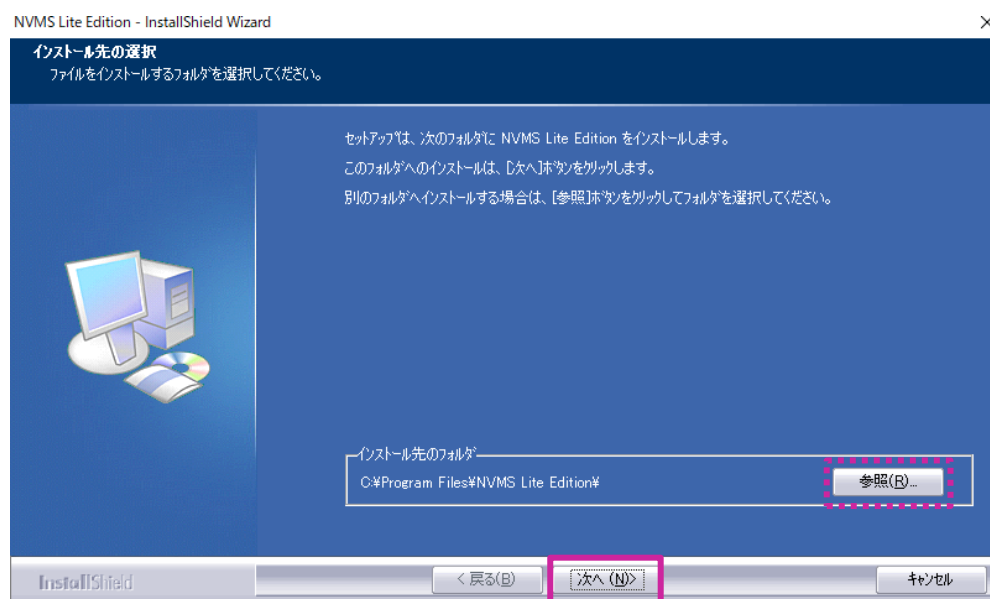
- 1) ソリッドカメラ ホームページのダウンロードページより、〈Secula（セキュラ）シリーズ〉内〔ソフトウェア〕を選択し、「NVMS 2.0」をダウンロードします。（本資料も同時にダウンロードされます。）



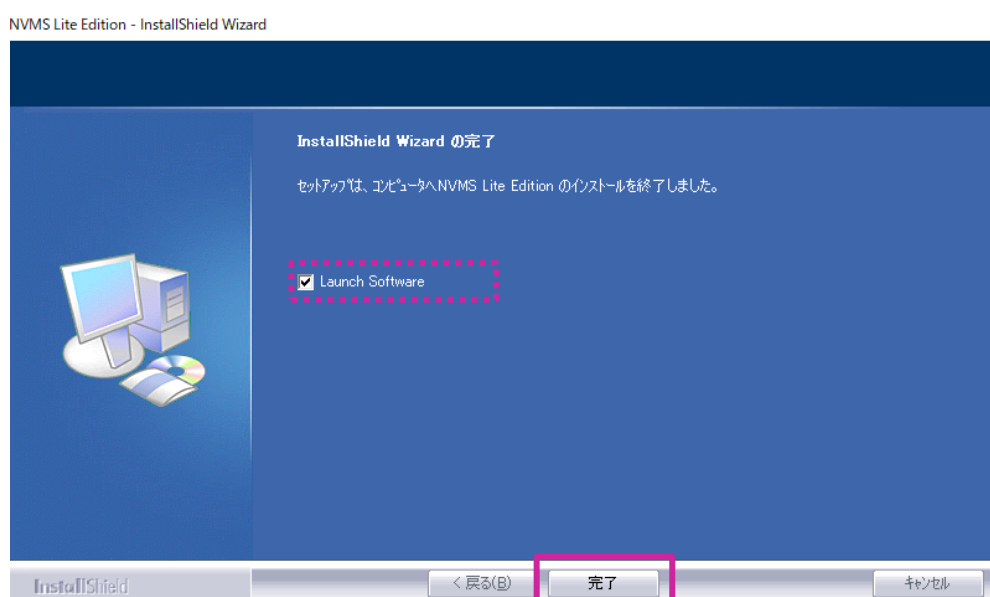
- 2) ダウンロードした [NVMS Lite x64 Neutral Ver2.1.4.41209.exe] をダブルクリックします。
- 3) 〈日本語〉を選択し [OK] をクリックします。



- 4) 「参照」をクリックしてインストール場所を選択し、「次へ」をクリックします。
インストールが開始されます。



- 5) 必要に応じて「Launch Software」（ソフトを起動する）にチェックを入れ、「完了」をクリックします。

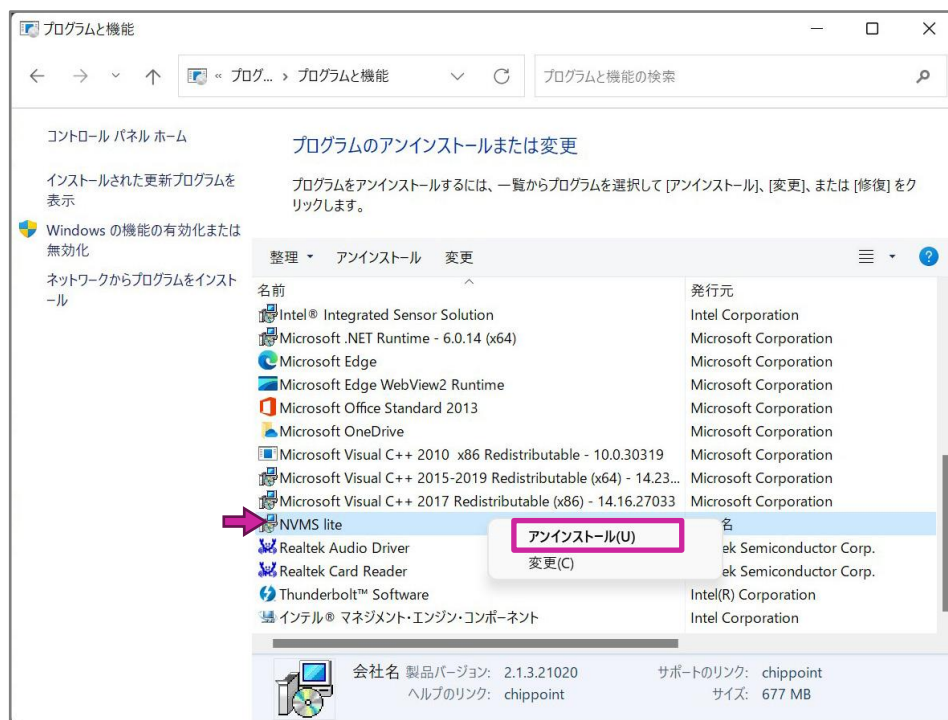


1.2. NVMS 2.0 をアンインストールする

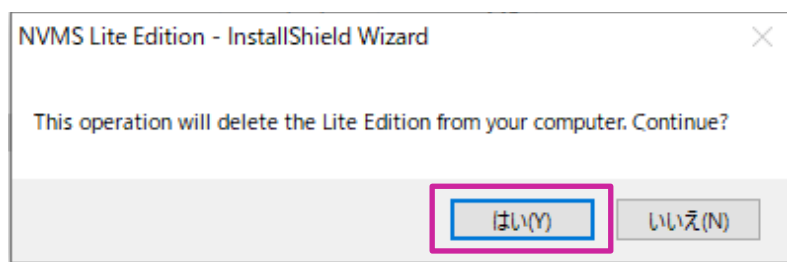
- 1) 「コントロールパネル」を開き、「プログラムのアンインストール」をクリックします。



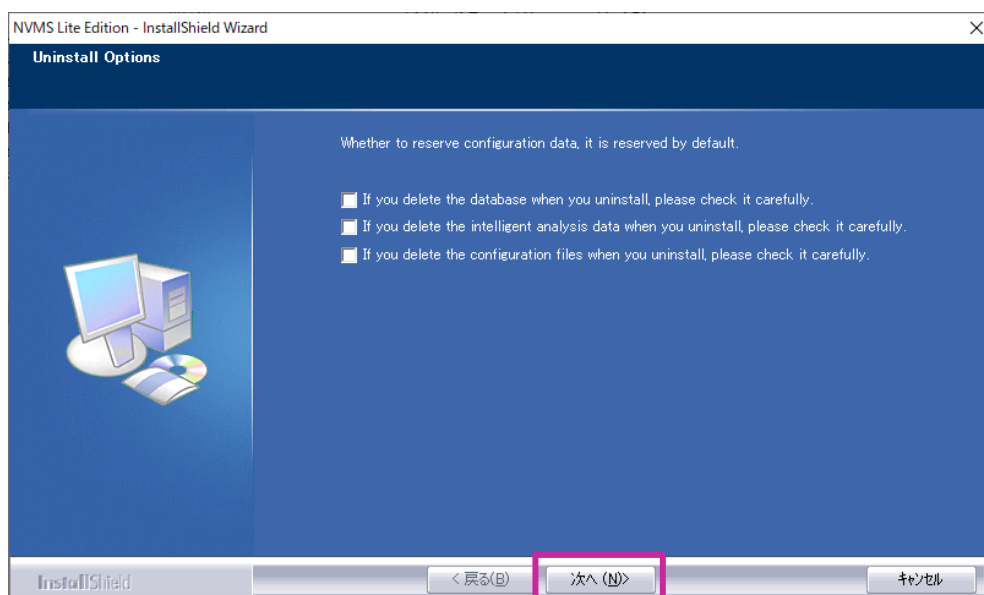
- 2) 「NVMS lite」または「NVMS Lite Edition」を右クリックし、「アンインストール」をクリックします。



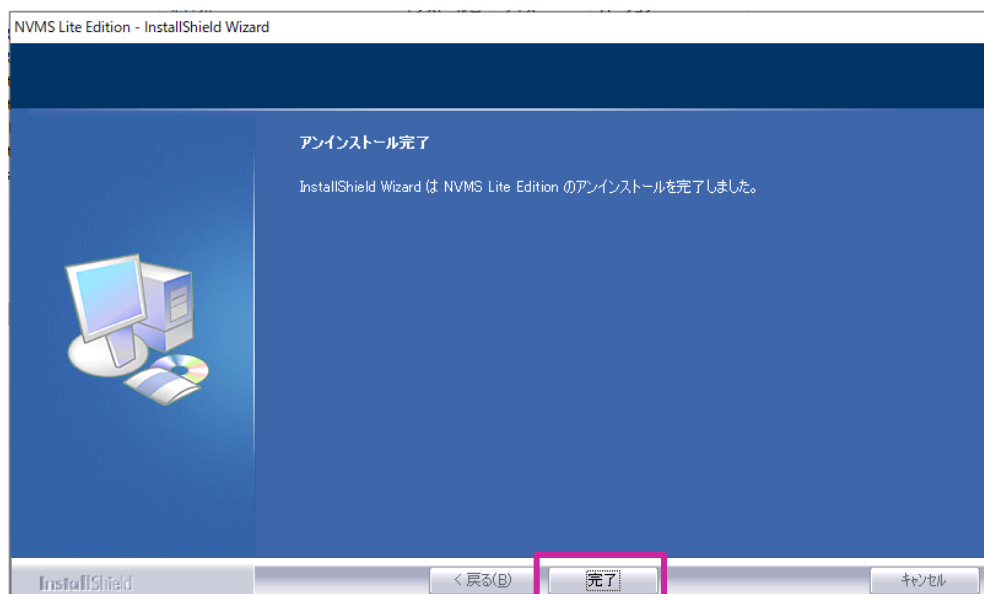
3) 下図のウィザードが表示されたら、[はい] をクリックします。



4) 下図のウィザードが表示されたら、必要に応じ、チェックを入れて [次へ] をクリックします。

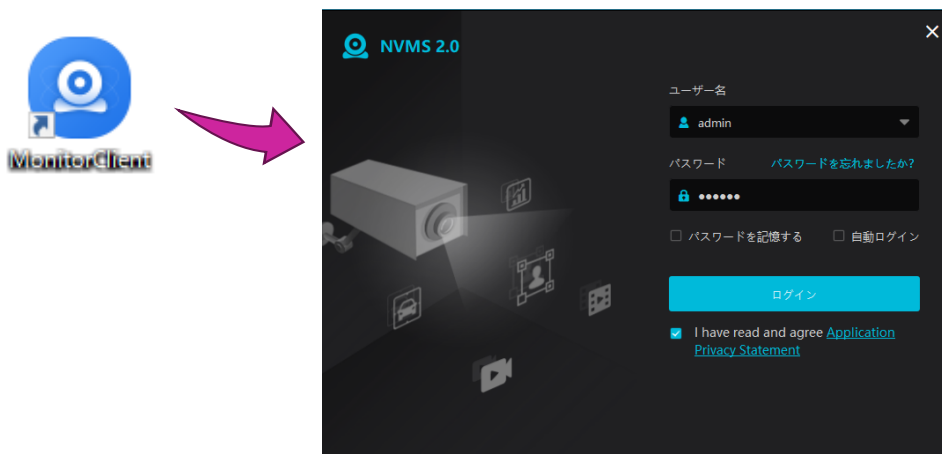


5) 下図の画面が表示されたら、[完了] をクリックします。



2. ログイン

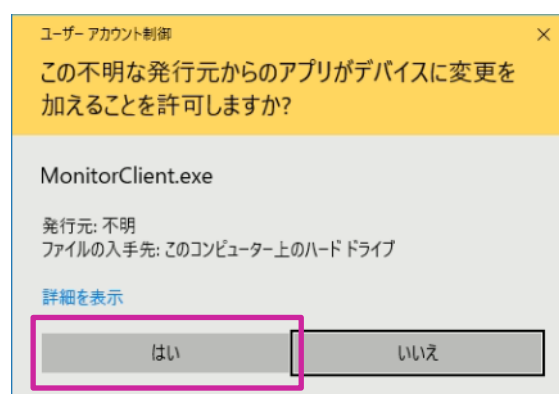
2.1. ログイン



- 1) [MonitorClient] のアイコン () をダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。
- 2) ユーザー名とパスワードを入力の上、画面最下部の「I have read and agree Application Privacy Statement」の内容（プライバシー規約）を確認し、チェックを入れます。
※ユーザー名/パスワードの初期値は、admin/123456 です。

- 3) [ログイン] をクリックします。

■ 「MonitorClient」 起動時に、〈ユーザーアカウント制御〉のウィンドウが表示される場合があります。
この場合、[はい] を選ぶとソフトが起動します。



- 4) パスワードを設定します。
パスワードの強度を選択し、任意のパスワードを設定してください。

パスワード強度	
弱	空白以外のパスワードを設定する必要があります。
中	数字、特殊文字、大文字アルファベット、小文字アルファベットのうち 2 種類を使用した 8～16 文字のパスワードを設定する必要があります。
強	数字、特殊文字、大文字アルファベット、小文字アルファベットのすべてを使用した 8～16 文字のパスワードを設定する必要があります。

- 5) パスワードを設定すると、再度ログイン画面に移動します。
設定したパスワードを使用してログインしてください。
- 6) パスワードを忘れたとき、パスワードをリセットするための質問と回答を作成します。
▼をクリックして質問を選び、回答を入力してください。

※質問はすべて入力が必要です。[スキップ] も可能ですが、次回起動時にも同じウィンドウが表示されます。

- 7) デバイスの同期設定を行います。
有効にすると2時間に1回、PCの時刻にデバイスの時刻が同期されます。

- 8) メインメニューインターフェースの機能エリアに表示させる項目設定を行います。



- 9) [録画ドライブ設定]が表示されますが、チェックは入れずに [OK] をクリックしてください。



※チェックを入れてしまうと、パソコン本体の容量を大きく圧迫するおそれがあります。

2.2. メインメニューインターフェース概要

メインメニューインターフェースには5つのエリアがあります。各部の説明は以下のとおりです。

1. メインメニューインターフェース



- 1 メニューバー
- 2 タブバー
- 3 機能エリア
- 4 設定ガイド
- 5 ステータスバー
- 6 アラーム情報バー



このアイコンをクリックすると
「6：アラーム情報バー」が
表示されます。
中央の数字は未確認のアラーム
件数です。



2. タブバー

アイコン	説明
	画面をロックします。解除するにはログインパスワードの入力が必要です。
	ライブビューの編集やライブビューの表示が行えます。
	ユーザーの切替、パスワードの変更、アプリ情報や取扱説明書（英語）の確認、機能エリアの表示設定、アプリのスキン変更が行えます。

各ボタンの説明

	最小化		最大化		元の大きさに戻す		閉じる
--	-----	--	-----	--	----------	--	-----

3. 機能エリア

アイコンが連動しています。機能エリアで選択した項目はメニューバーに表示されます。

機能エリアに追加する項目は、下記の手順で追加できます。

- 1)  → [Switch Plan] をクリックします。
- 2) ホーム画面に表示する項目のチェックボックスにチェックを入れて [Finish] をクリックします。
ホーム画面に追加した項目が表示されます。

アイコン	説明
	ライブ映像監視
	ライブビュー アラームビュー E マップビュー
	録画の検索と再生
	録画の再生 タイムスライス検索 イベント検索 タグ検索 バックアップ イベント画像検索 サーバ録画設定
	ビデオウォール名 ※本取り扱い説明書には操作方法を記載しておりません
	ビデオウォール表示 タスク設定 ビデオウォールシステム設定
	E マップ ※本取り扱い説明書には操作方法を記載しておりません
	E マップ設定
	デバイス管理
	デバイスの追加と編集 デバイス設定 デバイスグループ設定 チャンネルグループの設定 タスク
	ユーザーアカウント設定
	User/Role オンラインユーザ管理
	アラーム設定
	アラームログの参照 アラーム設定
	運用とメンテナンスの管理
	ログ検査 設定のバックアップと復元 リアルタイムステータス ステータスログ
	ローカル設定
	システムの起動とメンテナンス システム設定
	【メニューバー】 ホーム
	ホーム画面に戻り、機能エリアを表示します。
	【メニューバー】 新規ライブ映像を追加
	メニューバーにライブ映像を追加できます。
	人物管理
	パーソナル&ビークルマネジメント 人物データの同期

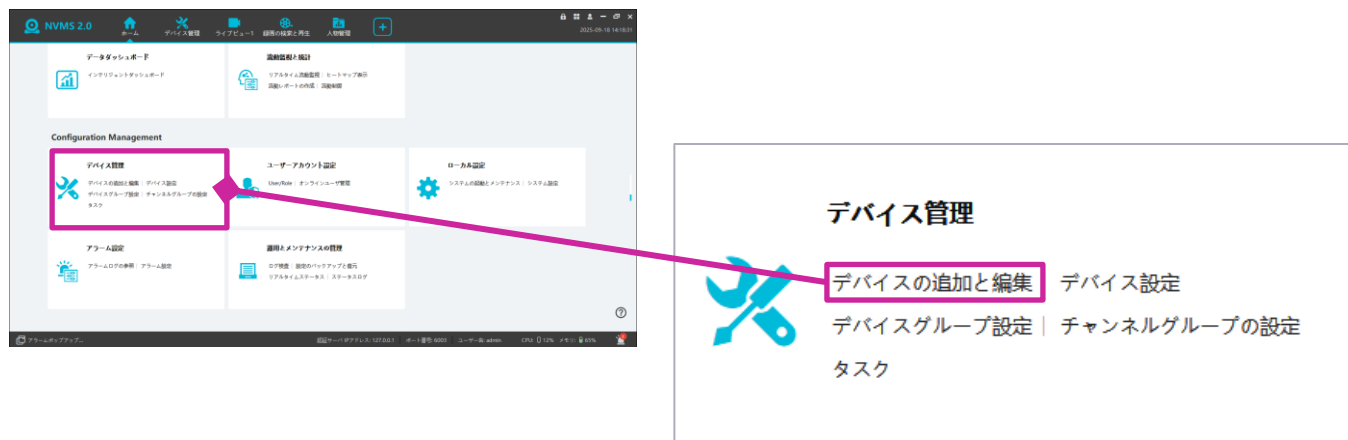
	ターゲット検索
	ターゲット追跡 照合結果検索 ナンバープレートマッチング検索 スナップショット検索
	流動監視と統計
	リアルタイム流動監視 ヒートマップ表示 流動レポートの作成 流動制御
	データダッシュボード
	インテリジェントダッシュボード

※弊社製品では使用できません。

3. 端末管理

3.1. デバイスの追加

1) ホーム画面の機能エリアにある〈デバイス管理〉内の〔デバイスの追加と編集〕をクリックします。



2) 画面左上部の〔追加〕をクリックします。



3.1.1. かんたん追加

同一 LAN 内のデバイスを追加します。デバイスは LAN 内の IP アドレスで追加されるため、LAN 外にパソコンを持ち出すとオフラインになります。遠隔視聴をする場合は「3.1.2 手動追加」を参照の上、「シリアル番号」で追加してください。

- 1) 同一 LAN 内のデバイスを検索するために、画面左上の「更新」をクリックします。
- 2) 表示されているデバイスを確認し、〈映像転送サーバ選択〉、〈録画サーバ選択〉、〈グループ選択〉を設定し、「OK」をクリックします。

【注意】

- ❖ デバイス追加の際、デフォルトの映像転送サーバと録画サーバを選択できます。事前に新しい映像転送サーバと録画サーバを作成することもできます。（→3.7 録画サーバと映像サーバ）
- ❖ デバイス追加の前に「グループ選択」を設定する必要があります。（→3.4 デバイスグループ）
- ❖ Hikvision、Dahua などの機器を追加するときは、「デフォルトパスワード」をクリックしデフォルトのユーザー名とパスワードを設定します。

デフォルトユーザー名は「admin」、デフォルトパスワードは「123456」または「Secula123456!」です。

3.1.2. 手動追加

外部ネットワークから NVR にアクセスする場合、この方法で追加します。

- 1) 画面上部の「手動追加」をクリックします。
- 2) 「IP アドレス/ IP アドレス範囲指定/ドメイン名/シリアル番号/URL/IPV6」の欄をクリックします。

追加エンコードデバイス

かんたん追加 手動追加 オートリポート追加 追加されていないオートリポートデバイス

IPアドレス/IPアドレス範囲指定/ドメイン名/シリアル番号/URL/IPV6	プロトコル	ポート番号	ユーザー名	パスワード	接続テスト
IPアドレス:0.0.0.0	標準IPC/NVR/DVR	6036	admin		

- 3) 「シリアル番号」を選択し、デバイスのシリアル番号を入力します。
下記で設定することもできます。

IP アドレス：同一ネットワーク内に機器がある場合、機器が取得している IP アドレスで追加できます。

IP アドレス範囲設定：サポート外のため使用できません。

ドメイン名：DDNS 設定をしている場合にデバイスのドメインで追加できます。

シリアル番号：LAN 内・LAN 外問わず「N から始まる番号」で追加できます。遠隔視聴する場合はこの項目を選択して追加してください。デバイスと同一ネットワーク内でこの方法を使用した場合、通信が遅くなる場合があります。

URL：同一ネットワーク内に機器を RTSP のアドレスで追加できます。

(例) rtsp://192.168.1.101:554/profile1 (profile は 1～3 まで指定可能)

※554 はデフォルト設定のポート番号です。

IPV6：同一ネットワーク内に機器がある場合、機器が取得している IPv6 のアドレスで追加できます。

追加エンコードデバイス

かんたん追加 手動追加 オートリポート追加 追加されていないオートリポートデバイス

IPアドレス/IPアドレス範囲指定/ドメイン名/シリアル番号/URL/IPV6	プロトコル	ポート番号	ユーザー名	パスワード	接続テスト
シリアル番号 ▼ Support P2P 2.0	--	--	admin		🔗
IPアドレス:0.0.0.0	標準IPC/NVR/DVR	6036	admin		

4) 〈プロトコル〉 〈ポート番号〉 〈ユーザー名〉 〈パスワード〉を入力したら、 をクリックします。



5) テストが成功したら、〈映像転送サーバ選択〉、〈録画サーバ選択〉、〈グループ選択〉を設定し、[OK] をクリックします。



3.2. デバイスの編集と削除

デバイスが正常に追加されると、以下のようにリストアップされます。

追加		削除		インポート/エクスポート		デバイスグループ選択		アップグレード		エクスポート		グレード				エクスポート		検索	
☐		番号	編集	デバイス名	種類	チャンネル数	アラーム入力番号	アラーム出力番号		HDD Space	Record days	Requested Recording Days	ブラウザ起動	削除					
☐		1		NonPoe	標準IPC/NV...	4	18	6											
☐		2		Device Name	標準IPC/NV...	3	7	3											
☐		3		Device Name	標準IPC/NV...	4	6	2											

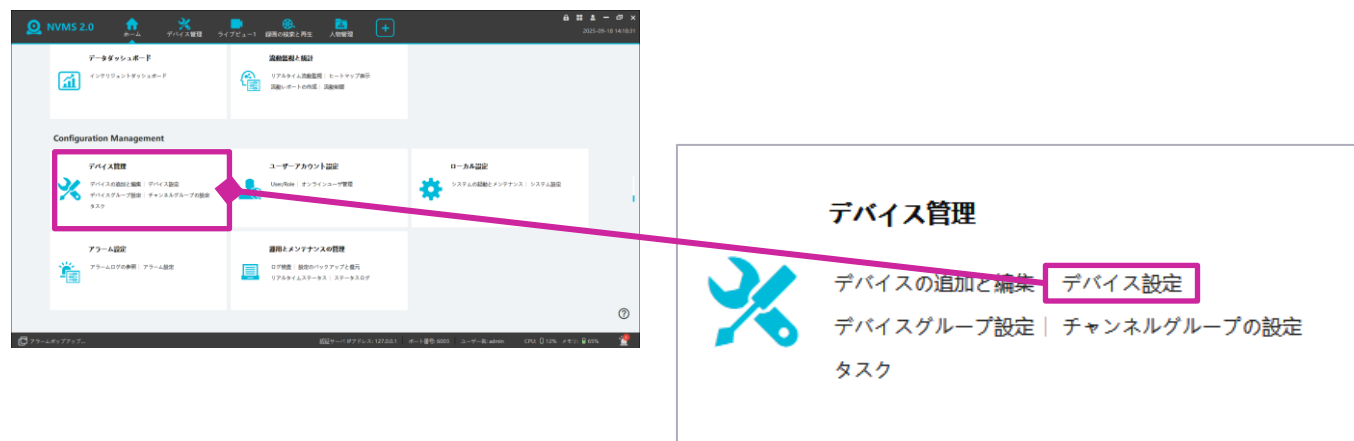
メニュー	アイコン		説明
編集			デバイスの映像転送サーバ選択や録画サーバ選択、ポート番号などを編集することができます。
	オンライン	オフライン	
HDD 状態			クリックすると、ディスク情報が表示されます。
録画期間 リクエスト			クリックすると、録画継続期間が Record days 欄に表示されます。
削除			クリックすると、デバイスリストから削除されます。
	オンライン	オフライン	
ブラウザ 起動			デバイスの WEB 設定が開きます（同一ネットワーク内のデバイスでのみ有効）。

IPC（カメラ）または NVR/DVR のアップグレードは、

- 1) [アップグレード] をクリックします。
- 2) [IPC をアップグレード] または [NVR/DVR をアップグレード] をクリックします。

3.3. デバイスの設定

- 1) ホーム画面の機能エリアにある〈デバイス管理〉内の「デバイス設定」をクリックします。



- 2) 〈エンコードデバイス〉でデバイスを選択すると、画面上部に各デバイスに対応したメニューが表示されます。



NVR のメニュー	
基本設定	デバイス名や映像出力サイズ等の変更
時刻設定	日付表示形式やタイムゾーンの変更
デバイスログ	アラーム/操作/設定/異常のログを表示
ネットワーク	ネットワーク設定の変更
Eメール	検知時にメールを送るメールアドレスの設定
DDNS	DDNS の設定
センサーアラーム設定	アラーム出力の設定変更
スケジュール設定	アラーム出力のスケジュールの設定
アラーム接点出力設定	アラーム出力名や時間等の設定
異常検知アラーム	NVR の異常検知時のアラーム設定
ユーザー管理	ユーザーの追加や修正、削除
ディスク情報	HDD の状態やプロパティの確認
録画モード	録画モードの設定や変更
NAT	NAT の設定

● NVR のメニュー＞基本設定

デバイス名やフォーマットおよび映像出力サイズの設定ができます。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。

● NVR のメニュー＞時刻設定

タイムゾーンや NTP サーバとの同期の設定が可能です。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。

● NVR のメニュー＞デバイスログ

アラームや異常などのログを確認できます。日時範囲を設定し確認したいログの種類をクリックするとログが表示されます。

No.	ログ種別	時刻	内容	詳細
1	アラームログ	2025-09-18 15:58:07	モーション検知アラーム	01
2	アラームログ	2025-09-18 15:57:59	モーション検知アラーム	sc04TE01
3	アラームログ	2025-09-18 15:56:35	モーション検知アラーム	sc04TE01
4	アラームログ	2025-09-18 15:56:07	インテリジェント検知	sc04TE01...ラインクロス
5	アラームログ	2025-09-18 15:55:51	モーション検知アラーム	01
6	アラームログ	2025-09-18 15:53:51	モーション検知アラーム	sc04TE01
7	アラームログ	2025-09-18 15:53:33	モーション検知アラーム	IPC1
8	アラームログ	2025-09-18 15:53:28	モーション検知アラーム	01
9	アラームログ	2025-09-18 15:52:45	モーション検知アラーム	sc04TE01
10	アラームログ	2025-09-18 15:52:37	モーション検知アラーム	01

● NVR のメニュー＞ネットワーク

IP アドレスなどのネットワーク設定が可能です。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。

● NVR のメニュー>E メール

SMTP サーバまたは Eメールの送信先を指定します。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。

● NVR のメニュー>DDNS

DDNS を有効にする場合、「DDNS の有効化」にチェックを入れ、各項目を設定します。プロトコルの種類は「www.autoddns.com」のみサポートしています。

● NVR のメニュー>センサーアラーム設定

外部取付センサーの録画、アラーム出力などのトリガー設定をします。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。

NO.	名称	スケジュール	タイプ	有効	保持時間(s)	録画	ステータス	アラーム出力
1	tual Alarm1	24x7	NO	ON	30	☐	録画	録画
2	tual Alarm2	24x7	NO	ON	30	☐	録画	録画
3	tual Alarm3	24x7	NO	ON	30	☐	録画	録画
4	tual Alarm4	24x7	NO	ON	30	☐	録画	録画
5	Sensor1	24x7	NO	ON	30	☐	録画	録画
6	Sensor1	24x7	NO	ON	30	☐	録画	録画
7	Sensor1	24x7	NO	ON	30	☐	録画	録画

● NVR のメニュー>スケジュール設定

録画やアラーム通知に適用するスケジュールの設定を行います。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。

● NVR のメニュー>アラーム接点出力設定

外部アラーム出力の設定を行います。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。

● NVR のメニュー>異常検知アラーム

異常検知アラームの設定を行います。アラームの種類と通知方法を選択し、「適用」をクリックします。

● NVR のメニュー>ユーザー管理

このパソコンで NVMS 2.0 を使用するユーザーを追加、修正、削除を行います。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。

● NVR のメニュー>ディスク情報

NVR に内蔵されている HDD の情報の確認ができます。[更新] をクリックすると最新の状態に更新されます。

NO.	Disk Name	種類	容量(Gb)	状態	属性	ソース	セキュリティ	フォーマット
1	Disk1	Normal Disk	1863.02	読み取りと書き込み可能	読み取りと書き込み可能	デバイス	no encrypted	

● NVR のメニュー>録画モード

録画モードを選択できます。[アドバンスモード] をクリックすると個別に録画の種類を選択してのカスタマイズが可能です。選択後は[適用] をクリックします。

録画モード: 自動モード

☐ モーション検知録画

☐ センサー検知録画

☐ モーション検知録画+センサー検知録画

☐ 常時録画+モーション検知録画

☐ 常時録画+センサー検知録画

☐ 常時録画+モーション検知録画+センサー検知録画

☒ 常時録画+モーション検知録画+センサー検知録画+映像分析録画

アドバンスモード

適用

● NVR のメニュー>NAT

遠隔視聴を行うための NAT 設定ができます。有効にする場合、「有効」にチェックを入れ、各項目を設定します。NAT タイプの選択を行う場合は、NAT2.0を選択してください。

☒ 有効

Input Type: dev-nat20.twautonat.com:9974

Access Address: www.twautonat.com

NAT Status: 成功

シリアル番号: N9376097VRAS

適用

Secula IP カメラのメニュー (※モデルによって異なります)	
OSD 設定	デバイス名称や時刻等の表示位置の設定や変更
映像設定	輝度、彩度、コントラスト、色合い等の調整
ストリーム設定	各ストリームのフレームレートやビットレート等の設定
モーション検知設定	モーション検知ゾーンやアラーム感度の設定
モーション検知アラーム連携	モーション検知アラームの有効/無効の設定
ライン通過検知	ライン通過検知の位置や有効/無効の設定
領域侵入活動検知	侵入検知の領域や有効/無効の設定
物体消失/出現検知	物体消失検知や出現検知の有効/無効の設定
妨害検知	ピンボケ検出や画像妨害検出の有効/無効等の設定
顔検出	登録した顔情報の検出設定
ライン通過カウント	ライン通過カウントの有効/無効や検出感度の設定
領域侵入検知	領域侵入検知の有効/無効や検出感度の設定
領域退出検知	領域退出検知の有効/無効や検出感度の設定
プリセット設定	カメラ (PTZ タイプ) のレンズ位置の設定
巡回設定	カメラ (PTZ タイプ) の巡回設定
カメラのローカル録画	視聴端末 (PC) の録画の設定
常時録画 (連続録画)	初期値の録画モードは自動モード
モーション検知録画	初期値の録画モードは自動モード
センサー検知録画	初期値の録画モードは自動モード
映像分析録画	初期値の録画モードは自動モード

録画モードを「手動」に切り替えるとアドバンスモードからカスタム可能です。

● IP カメラのメニュー>OSD 設定

映像に表示されるデバイス名、時刻の設定を行います。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>映像設定

映像の明るさや色合いを調整できます。スケジュールによる切り替えも可能です。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>ストリーム設定

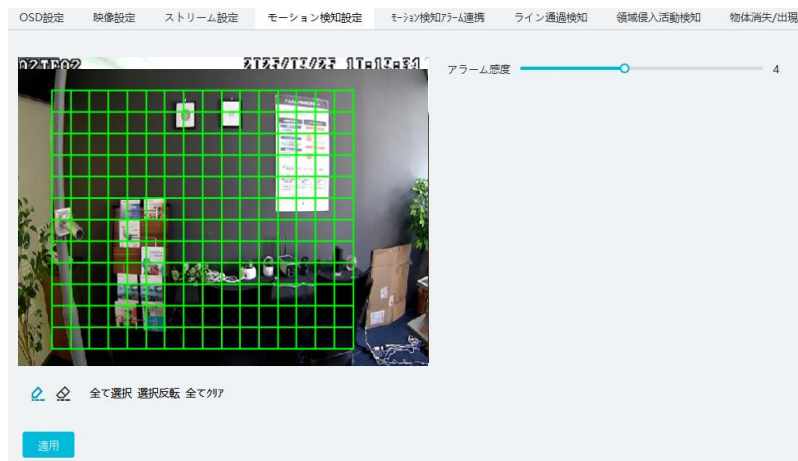
解像度、フレームレート、ビットレートなどを録画ストリーム別に設定できます。各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>モーション検知設定

モーション検知を行う範囲を指定します。

 で描画モード、 で削除モードになります。設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>モーション検知アラーム連携

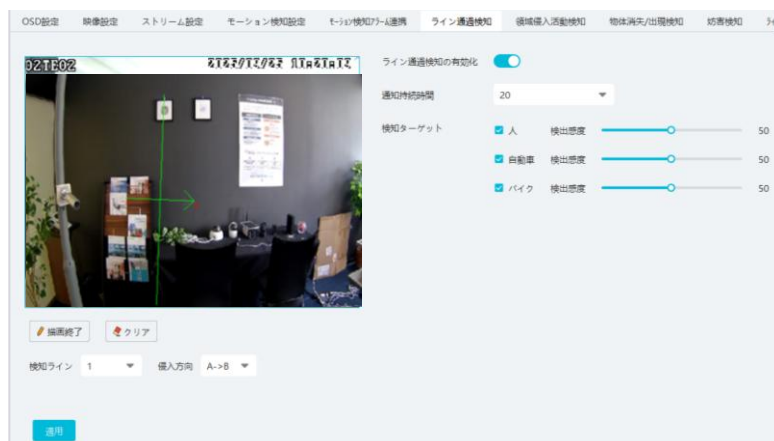
モーション検知のアラーム連携設定ができます。使用する場合は「有効」にチェックを入れ「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>ライン通過検知

定めたラインを物体が通過した場合に検知する設定を行います。

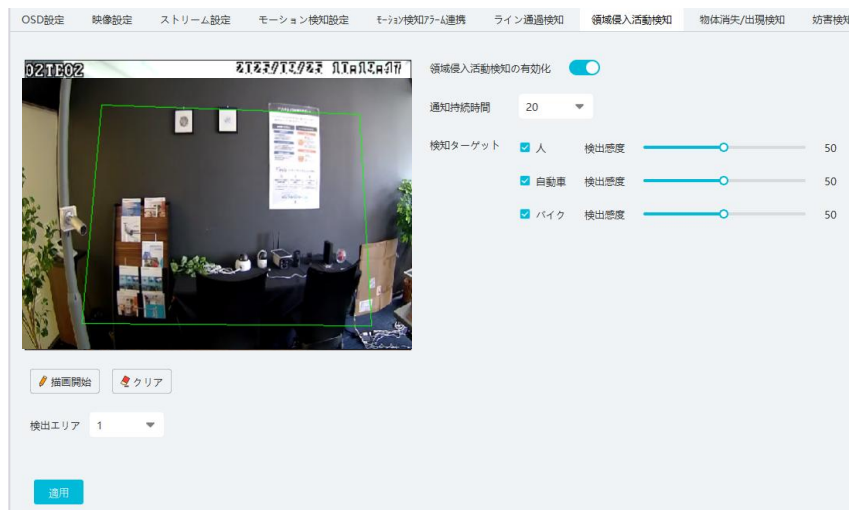
- 1) 「ライン通過検知の有効化」にチェックを入れます。
- 2) 「描画開始」をクリックし、マウスをドラッグしてラインを設定します。上から下へドラッグすると右から左、下から上へドラッグすると左から右への通過を検知します。
- 3) 設定後は「描画終了」をクリックします。
- 4) 感度などの設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>領域侵入活動検知

定めたエリアに侵入した場合およびエリア内で動きがあった場合に検知する設定を行います。

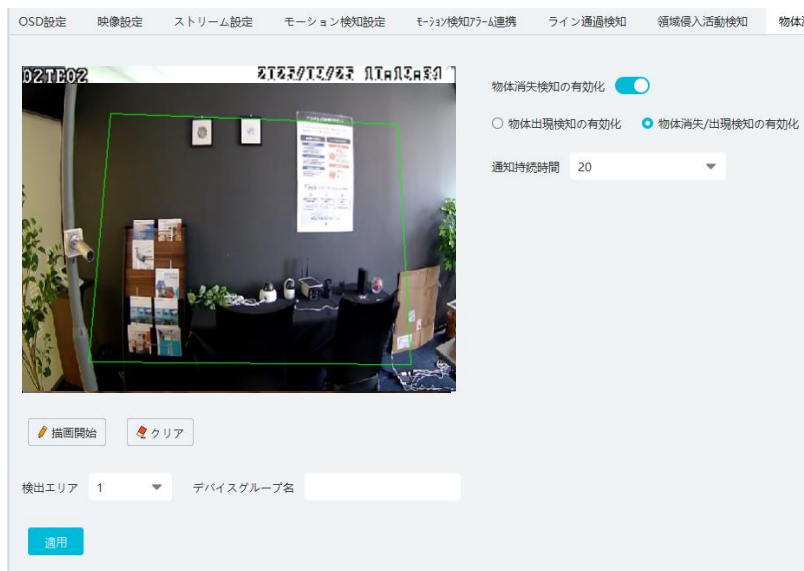
- 1) 「領域侵入活動検知の有効化」にチェックを入れます。
- 2) 「描画開始」をクリックし、マウスをクリックして図形を描画しエリアを設定します。
- 3) 設定後は「描画終了」をクリックします。
- 4) 感度などの設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>物体消失/出現検知

定めたエリアに物体が出現/消失した場合に検知する設定を行います。

- 1) 「物体消失検知の有効化」にチェックを入れます。
 - 2) 「描画開始」をクリックし、マウスをクリックして図形を描画しエリアを設定します。
 - 3) 設定後は「描画終了」をクリックします。
- 感度などの設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>妨害検知

カメラ映像に妨害（映像をぼやけさせたり、レンズを覆い隠したりする行為）があった場合に検知する設定ができます。使用する場合は有効にしたい検知にチェックを入れ、感度などの設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>顔検出

人物の顔を検知します。

- 1) 「顔検出 (IPC)」を選択します。
- 2) 「描画開始」をクリックし、マウスをドラッグして図形を描画しエリアを設定します。
- 3) 設定後は「描画終了」をクリックします。
- 4) 保存やスナップショットなどの設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>ライン通過カウント

定めたラインを通過した物体や人物をカウントします。

- 1) 「ON」にチェックを入れます。
- 2) 「描画開始」をクリックし、マウスをドラッグしてラインを設定します。
上から下へドラッグすると右から左、
下から上へドラッグすると左から右への通過を検知します。
- 3) 設定後は「描画終了」をクリックします。
- 4) 感度などの設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>群衆密度カウント

定めたエリア内に存在する人物を検知し、エリア内の混雑状況を把握するための設定を行います。

- 1) 「有効」にチェックを入れます。
- 2) 「描画開始」をクリックし、マウスをクリックして図形を描画しエリアを設定します。
- 3) 設定後は「描画終了」をクリックします。
- 4) 感度などの設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー＞領域侵入検知

定めたエリアに物体や人物が侵入した場合に検知する設定を行います。エリア内で動きがあっても検知されません。

- 1) 「有効」にチェックを入れます。
- 2) 「描画開始」をクリックし、マウスをクリックして図形を描画しエリアを設定します。
- 3) 設定後は「描画終了」をクリックします。
- 4) 感度などの設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー＞領域退出検知

定めたエリアから物体や人物が退出した場合に検知する設定を行います。エリア内で動きがあっても検知されません。

- 1) 「有効」にチェックを入れます。
- 2) 「描画開始」をクリックし、マウスをクリックして図形を描画しエリアを設定します。
- 3) 設定後は「描画終了」をクリックします。
- 4) 感度などの設定後は「適用」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>プリセット設定

パン/チルト/ズームに対応しているカメラの画角を登録できます。レビュー画面下部のボタンで操作し「追加」をクリックするとリストに追加されます。

プリセット名は半角英数字をご使用ください。



● IP カメラのメニュー>巡回設定

パン/チルト/ズームに対応しているカメラの複数のプリセット位置を巡回する設定を行います。

- 1) 「追加」をクリックします。
- 2) 「巡回設定追加」ウィンドウでプリセットを選択、秒数・スピードを設定後は「追加」をクリックします。
- 3) プリセットの追加が完了後は「OK」をクリックします。



● IP カメラのメニュー>カメラのローカル録画

プレ録画とポスト録画の設定が可能です。設定は選択しているデバイスが登録されている他のチャンネルにも同時に反映させることができます。

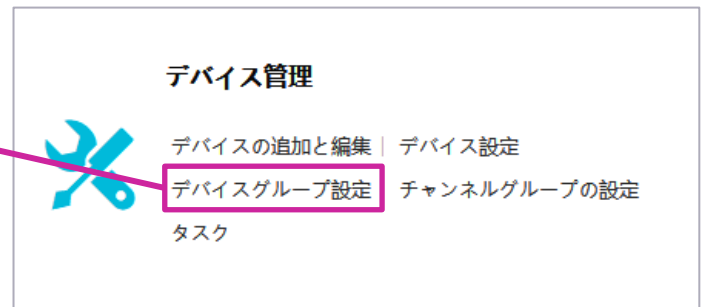
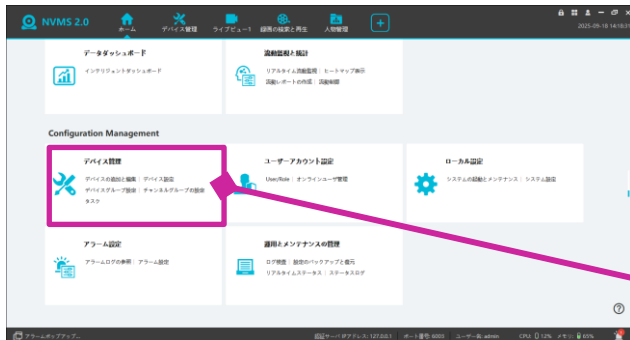
各項目を変更した場合は「適用」をクリックします。



3.4. デバイスグループ

NVMS2.0 に追加するデバイスが複数台ある場合、グループ化することができます。

- 1) ホーム画面の機能エリアにある〈デバイス管理〉内の「デバイスグループ設定」をクリックします。



- 2) 画面左上の「追加」をクリックします。



- 3) 〈デバイスグループ名〉を入力し「OK」をクリックすると親グループが作成されます。
〈親グループ〉を選択してから〈デバイスグループ名〉を入力し「OK」をクリックすると、サブグループが作成されます。

デバイスの追加と編集	デバイス設定	デバイスグループ設定	チャンネルグループの設定	タスク
追加	空白のグループを一括削除			
デバイスグループ名	チャンネル数	編集	削除	
大阪支店	0	編集	削除	
東京支店	0	編集	削除	
標準グループ	21	編集	削除	

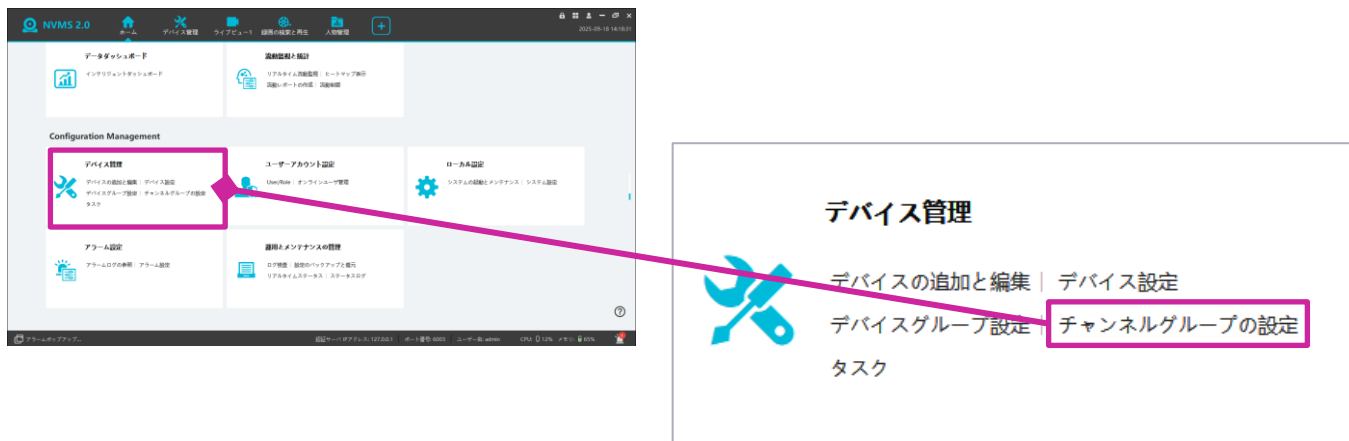
 デバイスグループの設定編集

 デバイスグループの削除

3.5. チャンネルグループ

NVR に複数台のカメラが登録されている場合、チャンネルをグループ化することができます。
グループ化されたカメラはライブビューで再生する際にパトロール再生、ループ再生が可能です。
例) 16CH の NVR の場合：1～8CH を「グループ 1」、9～16CH を「グループ 2」に設定するなど

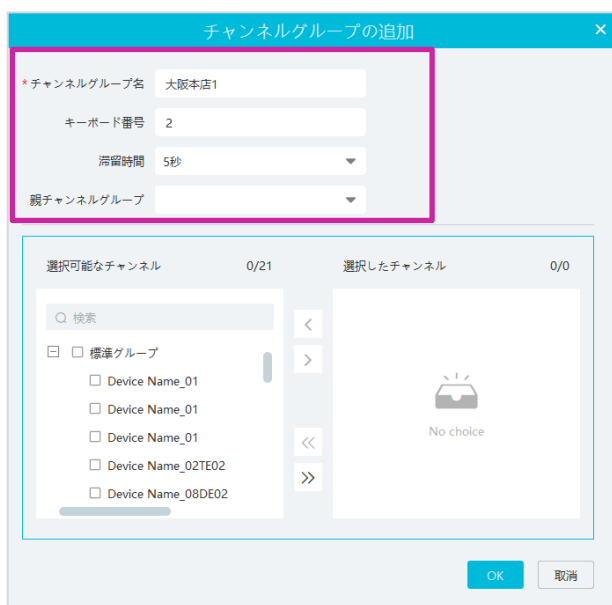
- 1) ホーム画面の機能エリアにある〈デバイス管理〉内の〔チャンネルグループの設定〕をクリックします。



- 2) 画面左上の〔追加〕をクリックします。



- 3) 〈チャンネルグループ名〉を入力し、〈キーボード番号〉〈滞留時間〉〈親チャンネルグループ〉を設定します。



● キーボード番号

任意のチャンネルグループ番号を入力します。

● 滞留時間

自動切替機能の利用時、各カメラの再生時間を設定できます。

● 親チャンネルグループ

チャンネルグループの中にサブチャンネルグループを作成する場合に使用します。

- 4) 〈選択可能なチャンネル〉からグループにしたいデバイスを選択し ➤ をクリックすると、〈選択したチャンネル〉に移動します。選択が完了したら、[OK] をクリックします。



- 選択したデバイスを移動させる
- ⬅ 選択したデバイスを元に戻す

- ➡➡ 選択可能なチャンネルを全て移動させる
- ⬅⬅ 選択したデバイスをすべて元に戻す

- 5) チャンネルグループリストに作成したチャンネルグループが表示されます。

チャンネルグループ名	チャンネル数	編集	削除
大坂本店1	2		

チャンネルグループ名	チャンネル数	編集	削除
大坂本店1	2		

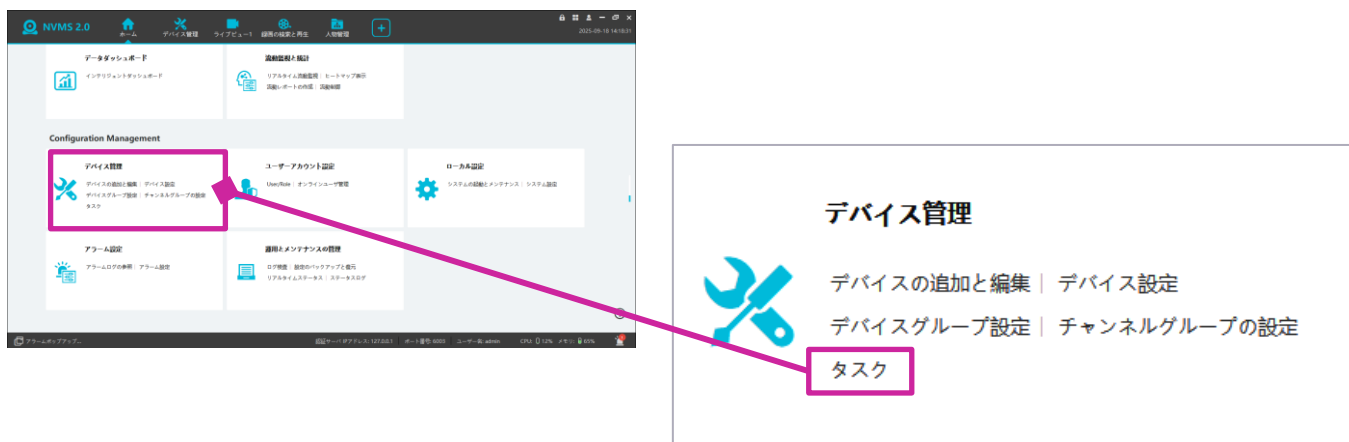
チャンネルグループの設定編集

チャンネルグループの削除

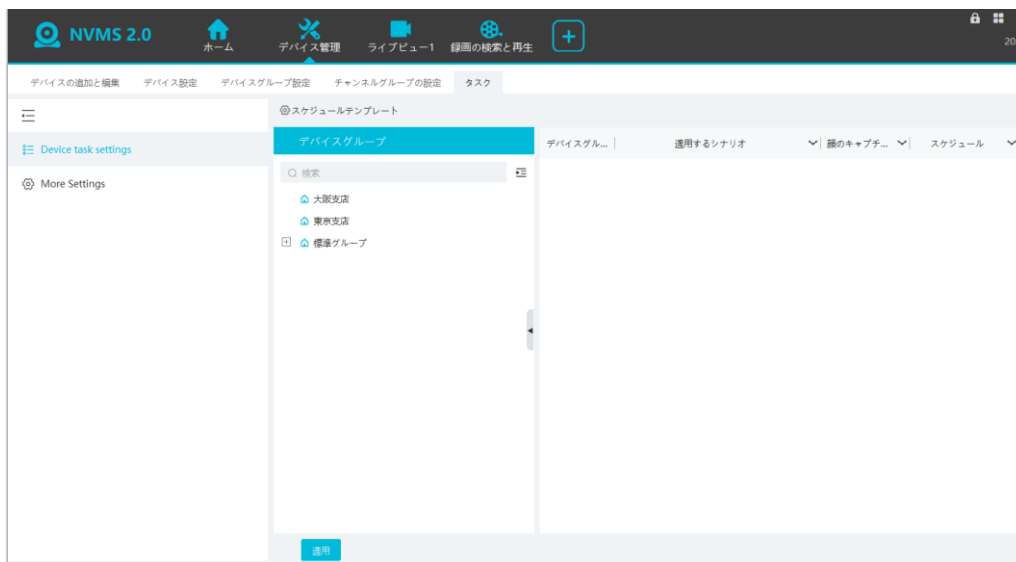
3.6. タスク

デバイスごとに、顔比較、車両制御のタスク設定やアラーム対象の設定ができます。

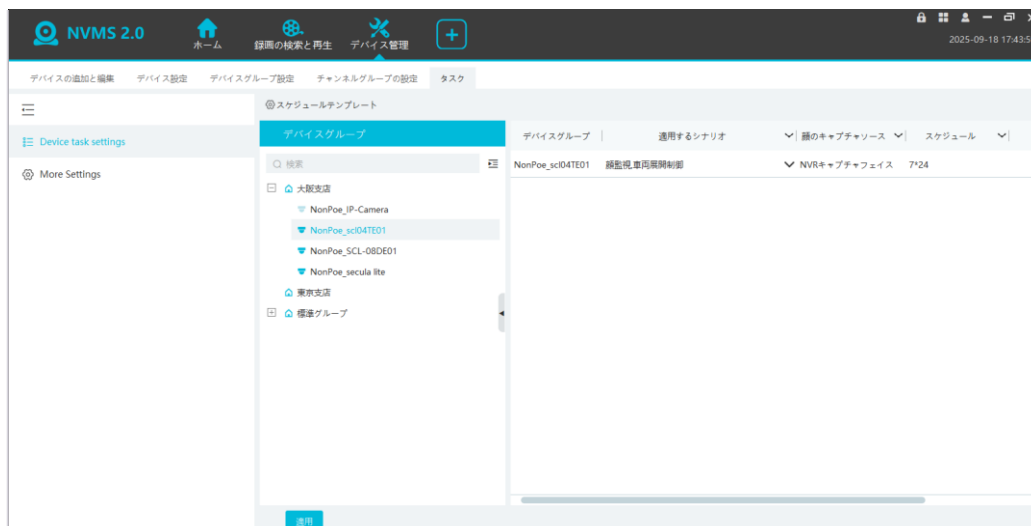
- 1) ホーム画面の機能エリアにある〈デバイス管理〉内の「タスク」をクリックします。



- 2) 〈Device task settings〉内の〈デバイスグループ〉から、デバイスを選択します。



- 3) 「適用するシナリオ」、「顔のキャプチャソース」、「スケジュール」を設定し「適用」をクリックします。



4) 〈More Settings〉から詳細設定を行い、〔適用〕をクリックします。



3.7. 録画サーバと映像サーバ

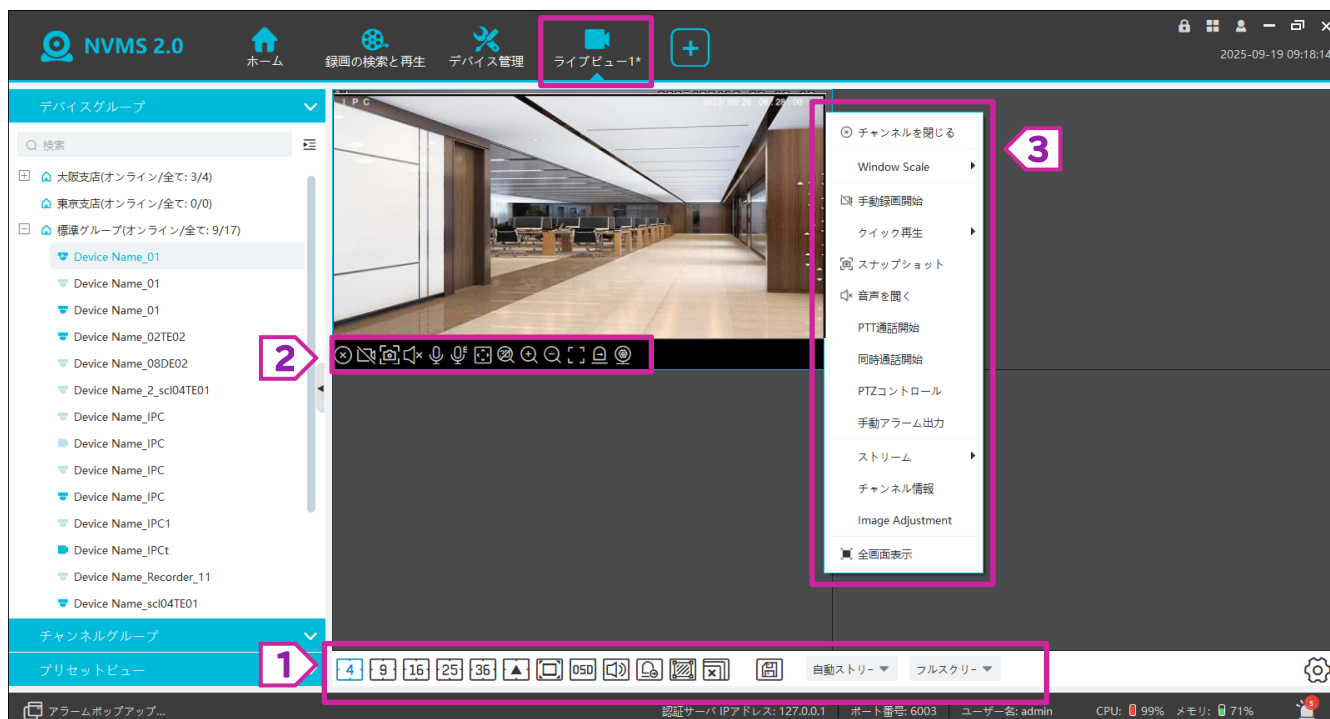
録画サーバと映像サーバは、IP アドレスを自動で認識し表示されます。IP アドレスを変更した場合は、NVMS 2.0 を再起動すると、更新されます。



4. ライブ表示

4.1. ライブビュー

メニューバーに表示されている  (ライブビュー) をクリックすると、ライブビュー画面が表示されます。



1. ライブビューボタン



主要な画面分割数切り替えボタン

チャンネルストリームの選択

画面サイズの選択

	画面モードの設定		全画面
	OSD の有効化/無効化		音声を一齐に配信
	手動アラームの設定		スマート検出エリアの表示
	すべてのライブビュー表示を閉じる		現在の表示モードを保存する

2. 表示ウィンドウのツールバー

ボタン	説明	ボタン	説明
	チャンネル表示を閉じる		3D ズームイン
	手動録画の開始/停止		ズームイン
	音声を聞く（有効/無効）にする		ズームアウト
	スナップショット		ズームをリセット
	PTZ コントロール		PTT 通話開始
	同時通話開始		デバイスの設定
	手動アラーム出力		

3. 右クリックボタンの機能

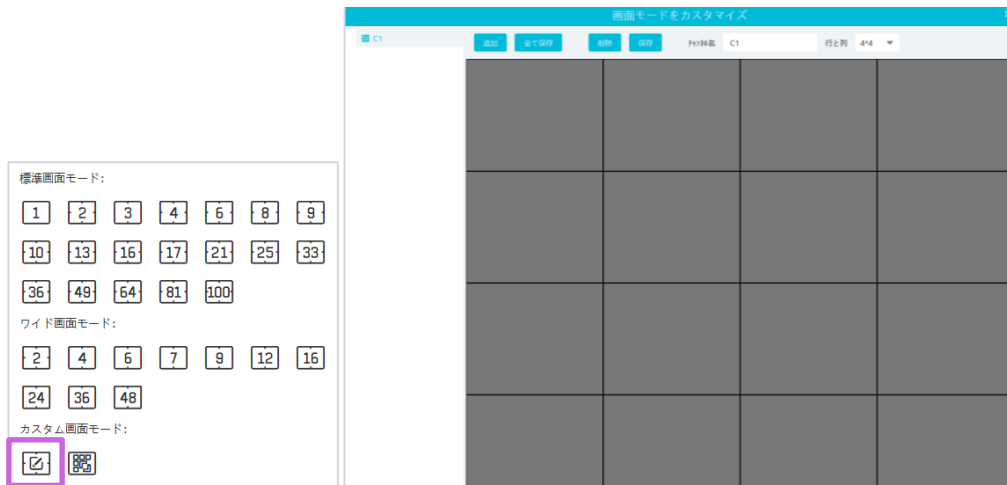
メニュー	説明
チャンネルを閉じる	映像を閉じます。
Window Scale	映像の画面サイズの選択ができます。
手動録画開始	手動で録画を開始 / 停止します。
クイック再生	クリックするとすぐに再生ができます。
スナップショット	音声を有効 / 無効にします再生映像の画像をキャプチャします。
音声を聞く	音声を有効 / 無効にします。
PTT 通話開始	クリックすると、PTZ コントロールパネルが開きます。
同時通話開始	PTT 通話を有効 / 無効にします。
PTZ コントロール	同時通話を有効 / 無効にします。
手動アラーム出力	カメラからアラームを出力します。
ストリーム	ストリームの選択ができます。
チャンネル情報	チャンネル情報を表示します。
Image Adjustment	映像の明るさや色合いを調整できます。
全画面表示	再生映像を全画面で表示します。

4.1.1. 画面モード設定

ライブビューボタンを使用して、「ライブビュー」画面の画面分割数を切り替えることができます。

● 画面モードをカスタマイズするには

- 1) ライブビューボタンの  をクリックし、 をクリックします。



- 2) 画面モードの〈名前〉を入力し、表示する〈行と列〉を選択します。
- 3) マウスの左ボタンを押したままカスタマイズ画面のウィンドウ上でドラッグし、複数のウィンドウを選択して「結合」をクリックします。
選択したウィンドウが統合されます。
- 4) 「保存」をクリックします。
カスタマイズした画面モードが保存されます。
- 5) 別の新しい画面モードをカスタマイズする場合は、「追加」をクリックし 2) の手順で行います。
- 6) 「全て保存」をクリックします。
カスタマイズしたすべての画面モードが保存されます。

4.1.2. デバイスグループ映像表示

● ライブ映像の視聴

ライブビュー表示の開始は下記 2 通りの手順で行います。

- 〈デバイスグループ〉からカメラをウィンドウにドラッグします。(カメラ画像は任意のウィンドウに、ランダムにドラッグできます。)
選択したウィンドウでライブビューが表示されます。
- 任意のウィンドウをクリックして選択、〈デバイスグループ〉のカメラをダブルクリックします。
選択したウィンドウでライブビューが表示されます。



● ライブ映像の停止

特定ウィンドウの映像表示停止は、下記2通りの手順で行います。

ライブビュー表示中のウィンドウにカーソルを置き、ウィンドウツールバーの  をクリックします。
選択したウィンドウでライブビューが停止されます。

- ライブビュー表示中のウィンドウを右クリックし、右クリックメニューから「チャンネルを閉じる」をクリックします。

選択したウィンドウでライブビューが停止されます。

すべてのウィンドウの映像表示停止は、

- 「ライブビュー」画面のツールバーで  をクリックします。すべてのウィンドウのライブビュー表示が停止します。



4.1.3. チャンネルグループ映像表示

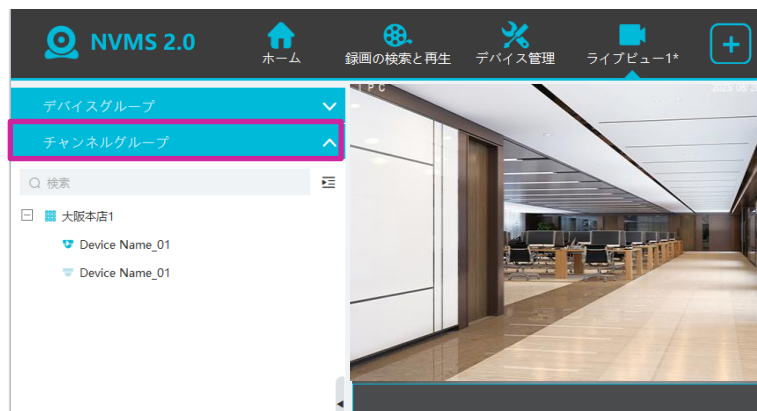
● チャンネルグループ映像表示開始

チャンネルグループ映像表示の開始は下記の手順で行います。

チャンネルグループは事前に設定します。（「3.5 チャンネルグループ」を参照）

- 任意のウィンドウをクリックして選択し、〈チャンネルグループ〉のチャンネルグループをダブルクリックします。

選択したウィンドウでチャンネルグループに設定されているチャンネルが自動で切り替わります。



● チャンネルグループ映像表示停止

特定ウィンドウのチャンネルグループ映像表示停止は、下記 2 通りの手順で行います。

- チャンネルグループ映像を表示しているウィンドウにカーソルを置き、 をクリックします。
選択したウィンドウのチャンネルグループ映像表示が停止します。
- チャンネルグループ映像を表示しているウィンドウを右クリックし、右クリックメニューから
[チャンネルを閉じる] をクリックします。
選択したウィンドウのチャンネルグループ映像表示が停止します。

すべてのウィンドウのチャンネルグループ映像表示停止は、

- 「ライブビュー」画面のツールバーで  をクリックします。すべてのウィンドウのチャンネルグループ映像表示が停止します。

4.1.4. プリセットビュー

再生中のライブ映像のカメラ・ウィンドウ位置をグループ化して保存しておくことができる機能です。
「ライブビュー」画面左の〈プリセットビュー〉をクリックして選択します。



● プリセットビューを追加する

- 右クリックメニューから追加する
 - 1) 画面左の〈プリセットビュー〉で [ライブビュー 1] を右クリックします。
 - 2) 右クリックメニューから [プリセットビューの追加] をクリックします。
「プリセットビューの追加」画面が表示されます。
 - 3) プリセットビューの追加の名称を入力し、[OK] をクリックします。
 - 4) 画面左の〈デバイスグループ〉から、カメラまたはチャンネルグループを各ウィンドウにドラッグします。
(「4.1.2 デバイスグループ映像表示」、「4.1.3 チャンネルグループ映像表示」参照)
 - 5) 画面左の〈プリセットビュー〉で、新しく追加したプリセットビュー名を右クリックします。
 - 6) 右クリックメニューから [映像表示設定の保存] をクリックします。
プリセットビューが保存されます。
- メニューバーから追加する
 - 1) 画面左の〈プリセットビュー〉で [ライブビュー 1] をクリックします。
 - 2) 「ライブビュー」画面上部のメニューバーで  をクリックします。
「ライブビュー」画面が表示されます。
 - 3) 画面左の〈デバイスグループ〉から、カメラまたはチャンネルグループを各ウィンドウにドラッグします。
(「4.1.2 デバイスグループ映像表示」、「4.1.3 チャンネルグループ映像表示」参照)

- 4) 「ライブビュー」画面下部のメニューバーで  をクリックします。
プリセットビューが保存されます。

● プリセットビューを変更する

- 1) 画面左の〈プリセットビュー〉で、追加したプリセットビューの名称を選択し右クリックします。
- 2) 右クリックメニューの「プリセットビュー名の変更」をクリックします。
プリセットビュー名を変更できます。

● プリセットビューを削除する

- 1) 画面左の〈プリセットビュー〉で、削除するプリセットビューの名称を選択し右クリックします。
- 2) 右クリックメニューの「プリセットビューの削除」をクリックします。
プリセットビューが削除されます。

4.2. 映像表示コントロール

「ライブビュー」画面では、画面モードの選択やライブビュー表示の操作ができます。



● 全画面表示

全画面表示は下記2通りの手順で行います。

- 「ライブビュー」画面のツールバーで  をクリックします。
ウィンドウを全画面で表示します。
- ウィンドウ上で右クリックして、右クリックメニューから「全画面表示」をクリックします。
ウィンドウを全画面で表示します。
全画面表示を終了する場合は、全画面上で右クリックして右クリックメニューから「全画面表示を終了」をクリックします。

● シングルチャンネル表示

- 1) ウィンドウをダブルクリックして、シングルチャンネルモードで表示します。
ウィンドウを再度ダブルクリックすると、シングルチャンネルモードが終了します。

● ストリーム設定

NVMS2.0 にて視聴する際のストリーム設定です。デバイス自体の設定は変わりません。

ストリーム設定は下記2通りの手順で行います。

- 「ライブビュー」画面のウィンドウ上で右クリックして、右クリックメニューからストリームをクリックします。

選択したチャンネルのストリームが設定されます。

- 「ライブビュー」画面のツールバーでストリーム（メインストリーム、サブストリーム、サードストリーム、自動ストリーム）を選択します。

すべてのチャンネルのストリームが設定されます。

▶ ストリームを設定するには

- 1) [ホーム] → <デバイス管理> 内の [デバイス設定] をクリックします。
「デバイス設定」画面に移動します。
- 2) 画面左の <エンコードデバイス> でカメラを選択し、[ストリーム設定] タブをクリックしてストリームを設定します。

● 音声制御

音声制御は下記2通りの手順で行います。

- 「ライブビュー」画面のウィンドウ上で右クリックして、右クリックメニューから [音声を聞く] を選択します。

音声の有効になります。

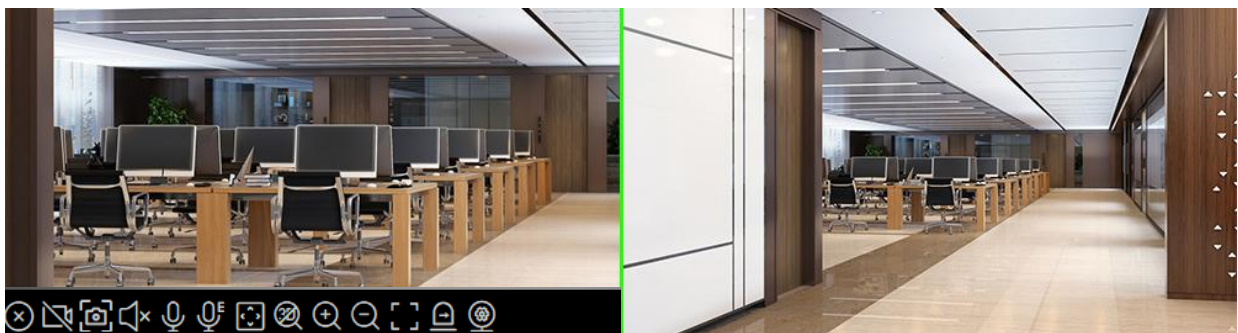
- ライブ表示ウィンドウのツールバーで  をクリックします。

音声の有効になります。

注：同時に有効にできる音声は1つだけです。1つのチャンネルの音声の有効になると、他のチャンネルの音声は自動的に無効になります。

● ライブビューの拡大／縮小

- 1) 「ライブビュー」画面でライブビューが表示されているウィンドウをクリックします。
- 2) ウィンドウ下部に表示されたツールバーの  をクリックします。
ライブビューが拡大されます。
拡大されたライブビューをマウスでドラッグしてライブビュー全体を確認できます。
- 3)  をクリックします。
ライブビューが縮小されます。
- 4)  をクリックします。
ライブビューサイズが元のサイズに戻ります。

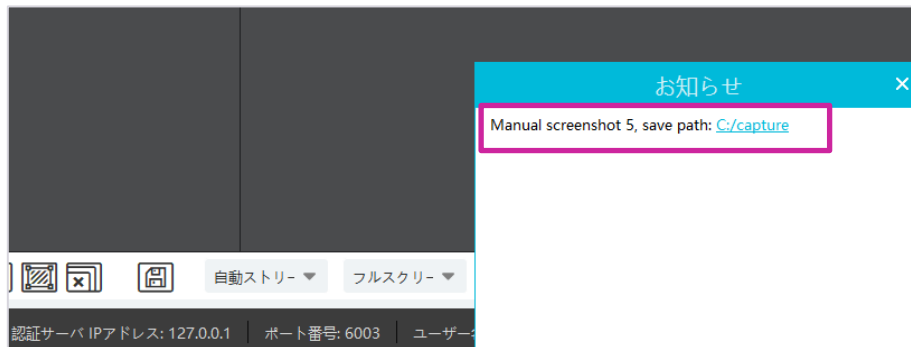


4.3. スナップショット

4.3.1. スナップショット

スナップショットは下記2通りの手順で行います。

- 映像再生中のウィンドウにカーソルを置き、ウィンドウツールバーの  をクリックします。
スナップショットが撮影されて、イメージ番号と保存パスが表示されます。
- 映像を再生しているウィンドウを右クリックして、右クリックメニューから [スナップショット] をクリックします。
スナップショットが撮影されて、イメージ番号と保存パスが表示されます。



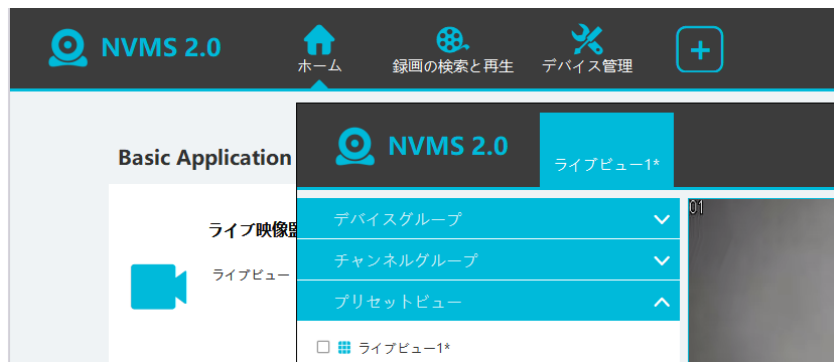
4.3.2. スナップショット設定

- 1) 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
- 2) 「システムの起動とメンテナンス」画面内の[ローカル保存設定]をクリックします。
「ローカル保存設定」画面に移動します。
- 3) 「ローカル保存設定」画面でスナップショットの〈スナップショットファイル保存先〉と〈スナップショット数〉を設定します。

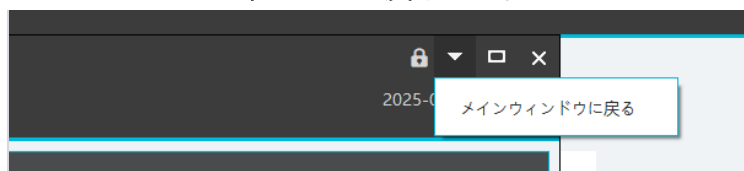
4.4. マルチスクリーン映像表示

ライブビュー画面を複数表示させることができます。ライブビュー画面は最大 64 画面まで表示可能です。ライブビュー画面はドラッグアンドドロップで PC 画面の任意の位置に単独表示させることができます。（PC にてマルチディスプレイを使用している際に、複数のモニターに別々のライブビューを表示させることができます。）

ライブビュー画面を移動させるには、ライブビュータブを長押ししながらドラッグします。



ポップアップウィンドウのタブバーで  をクリックし、[メインウィンドウに戻る] を選択すると、このポップアップウィンドウをメインウィンドウに戻します。



4.5. PTT 通話開始

カメラから音声を出力する場合、音声出力に対応しているモデルで外部スピーカーを接続する必要があります。視聴端末から話しかけた場合、NVR のスピーカーから音声聞こえます。

PTT 通話開始は下記 2 通りの手順で行います。

- ライブビューを表示中のウィンドウにカーソルを置き、ウィンドウツールバーの  をクリックします。PTT 通話開始が有効になります。
- ライブビューを表示中のウィンドウ上で右クリックして、右クリックメニューから [PTT 通話開始] をクリックします。PTT 通話開始が有効になります。

注：アプリケーションは 1 つのデバイスの通話のみを有効にするため、新しい通話が有効になった場合、アプリケーションは現在のデバイスとの通話を停止します。



4.6. 同時通話開始

カメラから音声を出力する場合、音声出力に対応しているモデルで外部スピーカーを接続する必要があります。

同時通話開始は下記 2 通りの手順で行います。

- ライブビューを表示中のウィンドウにカーソルを置き、ウィンドウツールバーの  をクリックします。

同時通話開始が有効になります。

- ライブビューを表示中のウィンドウ上で右クリックして、右クリックメニューから [同時通話開始] をクリックします。

同時通話開始が有効になります。

注：アプリケーションは 1 つのデバイスの通話のみを有効にするため、新しい通話が有効になった場合、アプリケーションは現在のデバイスとの通話を停止します。

4.7. 手動アラーム出力

カメラに外部のアラームランプなどのアラーム出力機器を接続している場合、手動でアラームを作動させることができます。

手動アラーム出力は下記 2 通りの手順で行います。

- ライブビューを表示中のウィンドウにカーソルを置き、ウィンドウツールバーの  をクリックします。

アラーム出力設定ができます。

- ライブビューを表示中のウィンドウ上で右クリックして、右クリックメニューから [手動アラーム出力] をクリックします。

アラーム出力設定ができます。

5. 録画再生

5.1. 録画構成

このアプリケーションは、手動録画、スケジュール録画、モーションアラーム録画、スマートアラーム録画などの録画モードをサポートしています。

5.1.1. 手動録画

ライブビュー表示の手動録画は下記 2 通りの手順で行います。

- ライブビューを表示中のウィンドウにカーソルを置き、ウィンドウツールバーの  をクリックします。
映像の録画が開始されます。
 - ライブビューを表示中のウィンドウ上で右クリックして、右クリックメニューから [手動録画開始] をクリックします。
映像の録画が開始されます。
- 録画を停止するには、ウィンドウツールバーの  をクリックします。

注：チャンネルが録画中の場合、表示を閉じると録画が停止します。

5.1.2. スケジュール録画

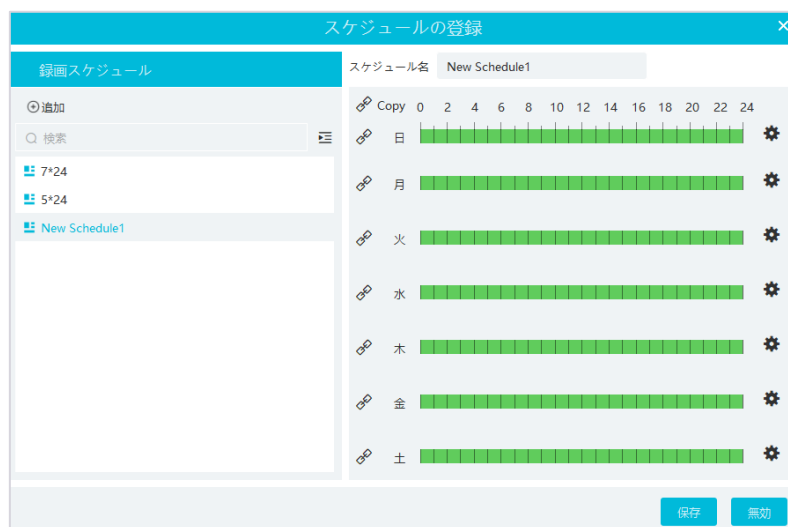
- 1) [ホーム] → 〈録画の検索と再生〉内の [サーバ録画設定] をクリックします。
「サーバ録画設定」画面に移動します。



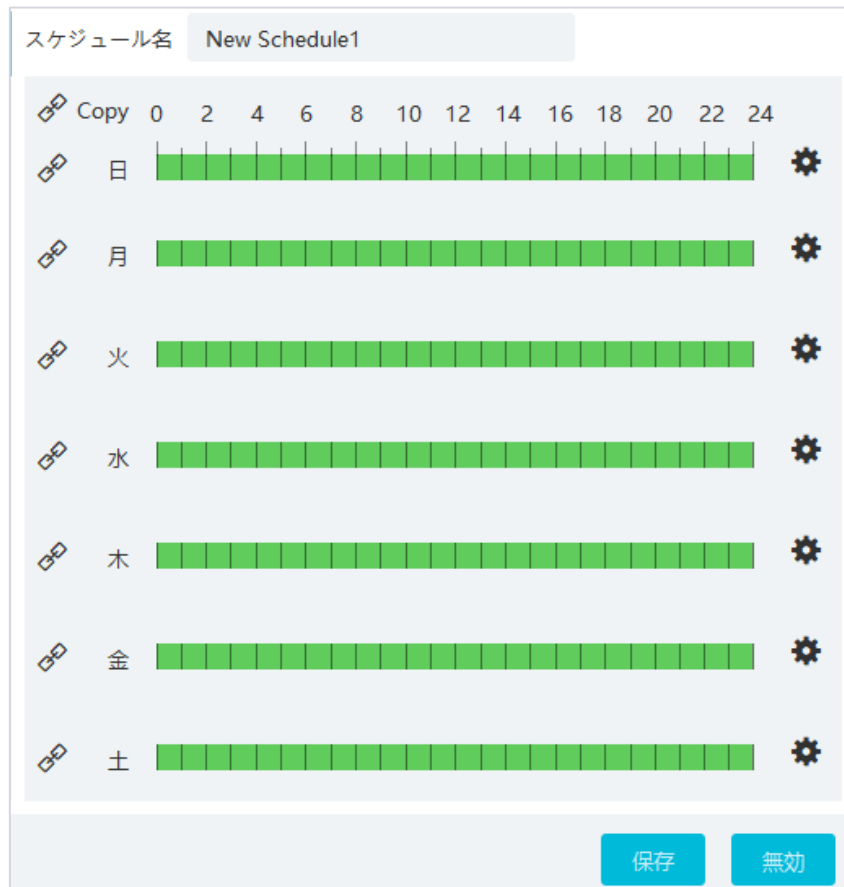
- 2) 「サーバ録画設定」画面でチャンネル、CBR/VBR（ストリームタイプ）、および録画スケジュールを選択します。
- 3) 画面左下の [適用] をクリックします。
スケジュール録画の設定が保存されます。

● スケジュールを登録するには

- 1) 「サーバ録画設定」画面内の「スケジュールの登録」をクリックします。
「スケジュールの登録」画面が表示されます。



- 2) 画面左上部の「追加」をクリックします。
- 3) スケジュールの名称を入力します。
- 4) スケジュールを登録します。
時間のバー上でドラッグ操作するとスケジュールの時間の追加、削除ができます。
⚙️をクリックすると、スケジュールの時間を手動で入力できます。



5.1.3. アラーム連携設定

- 1) [ホーム] → <デバイス管理> 内の [デバイス設定] をクリックします。
「デバイス設定」画面に移動します。
- 2) アラーム連携設定を設定するデバイスを選択します。
- 3) 選択したデバイスのアラーム設定を有効にします（詳細な設定については、対応するデバイスのユーザーマニュアルをご参照ください）。
- 4) [ホーム] → <アラーム設定> 内の [アラーム連携設定] をクリックします。
「アラーム連携設定」画面に移動します。
- 5) <デバイスグループ>、<アラームの種類> を選択します。
- 6) <録画>、<アラームビュー>、および <スケジュール> を設定します。
- 7) [適用] をクリックします。

アラーム連携設定が保存されます。

The screenshot displays the 'Alarm Linkage Settings' (アラーム連携設定) screen. The left sidebar contains navigation links: 'Alarm Log Reference' (アラームログの参照), 'Alarm Settings' (アラーム設定), 'Manual Alarm Output' (手動アラーム出力), 'SOP (Alarm Corresponding Manual Item) Settings' (SOP(アラーム対応手動)項目の設定), 'Alarm Task Settings' (アラームタスク設定), 'Email Settings' (Eメール設定), and 'SIRA Alarm Settings' (SIRAアラーム設定). The central pane, titled 'Alarm Types' (アラームの種類), shows a search bar and a list of device groups under 'Device Groups' (デバイスグループ). The selected group is '監視カメラ' (Monitoring Camera). The right pane shows a table of settings for three devices: 'NonPoe_IP-Camera', 'NonPoe_SCL-08DE01', and 'NonPoe_sci04TE01'. Each device has settings for 'Sound' (音声), 'Alert' (アラート), 'Recording' (録画), 'Alarm View' (アラームビュー), and 'Snapshot' (スナップショット). The 'Alert' column shows 'OFF' for all devices, and the other columns show 'Not Set' (未設定).

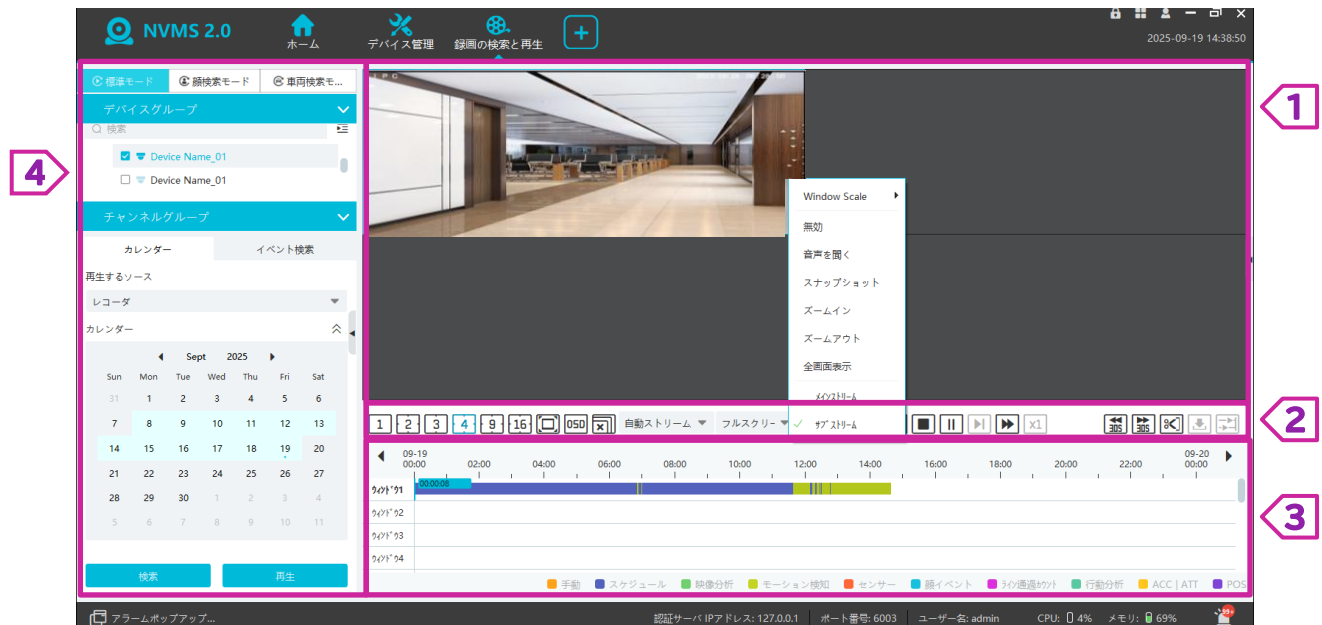
デバイス名	音声	アラート	録画	アラームビュー	スナップショット
NonPoe_IP-Camera	OFF	未設定	未設定	未設定	未設定
NonPoe_SCL-08DE01	OFF	未設定	未設定	未設定	未設定
NonPoe_sci04TE01	OFF	未設定	未設定	未設定	未設定

5.2. 録画再生

メニューバーに表示されている  (録画の検索と再生) をクリックすると、「録画の検索と再生」画面が表示されます。

デバイスおよびストレージサーバの HDD/SD カードに保存された録画データを再生できます。

録画データの再生には、同期再生と非同期再生の 2 種類があります。



● エリア説明

エリア	説明	エリア	説明
1	映像再生ウィンドウエリア	3	タイムスケールエリア
2	ツールバーエリア	4	録画データ検索エリア

● プレイバック・ウィンドウツールバー

ボタン	説明	ボタン	説明
	再生中のチャンネルを閉じる		映像の拡大（ズームイン）
	音声を聞く		映像の縮小（ズームアウト）
	スナップショット		ウィンドウに合わせる

● ボタン説明 エリア 2

ボタン	説明
	画面表示モードボタン (1/2/3/4/9/16 画面モードはオプションです)
	全画面表示
	OSD を有効または無効にする
	すべてのウィンドウ表示を閉じる
	逆再生
	低速再生
	停止
	再生/一時停止
	次のフレームに移動 一時停止中にクリックして1フレームずつ再生
	倍速再生
	30 秒前または 30 秒後へスキップ
	同期再生/非同期再生

● 右クリックボタンメニュー

メニュー	説明	メニュー	説明
Window Scale	映像の画面サイズ選択ができます	ズームアウト	現在の画像を縮小
無効	再生中のチャンネルを閉じます	全画面表示	全画面で映像表示
音声を聞く	音声の有効/無効を切り替え	メインストリーム	メインストリーム再生に切り替え
スナップショット	スナップショットの撮影	サブストリーム	サブストリーム再生に切り替え
ズームイン	現在の画像を拡大		

● その他のボタン

ボタン	説明	ボタン	説明
	イベントリストの表示		録画データのバックアップ

録画の再生

- 1) 「録画の再生」画面左の〈デバイスグループ〉でデバイスを選択し、〈カレンダー〉で録画日付を選択します。
- 2) [再生]をクリック、または画面左の〈デバイスグループ〉で目的のデバイスをダブルクリックします。

〈イベント検索〉をクリックして、開始時間/終了時間/イベントの種類を設定し [検索] をクリックすると、設定した条件で録画データを検索できます。

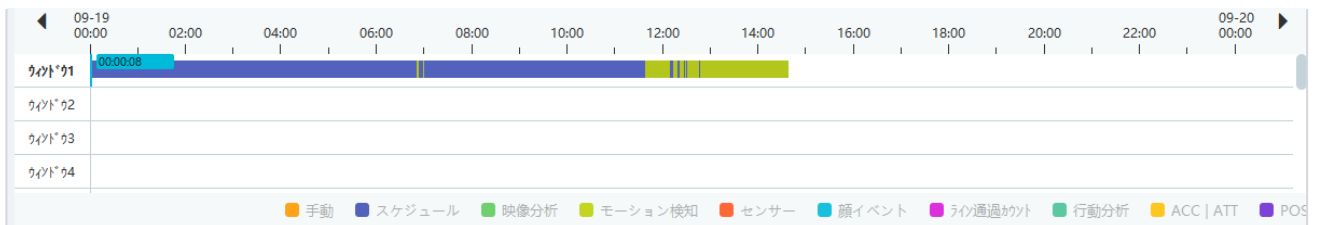
(一部のデバイスでは、「メインストリーム」を選択して録画データを再生できます。選択しない場合、録画データはサブストリームで再生されます)

イベントの種類

・手動録画 ・スケジュール録画 ・映像分析録画 ・モーション検知(動体検知)録画
・センサー録画 ・顔イベント録画 ・ライン通過カウント録画 ・行動分析録画 ・ACC | ATT 録画
・POS 録画

タイムスケールでは、録画モードがそれぞれの色で表示されます。

例：黄色のバーはモーション検知録画、赤色のバーはセンサー録画をそれぞれ表します。



タイムスケールエリアで

⊕ をクリックするとタイムスケールが拡大されます。

⊖ をクリックするとタイムスケールが縮小されます。

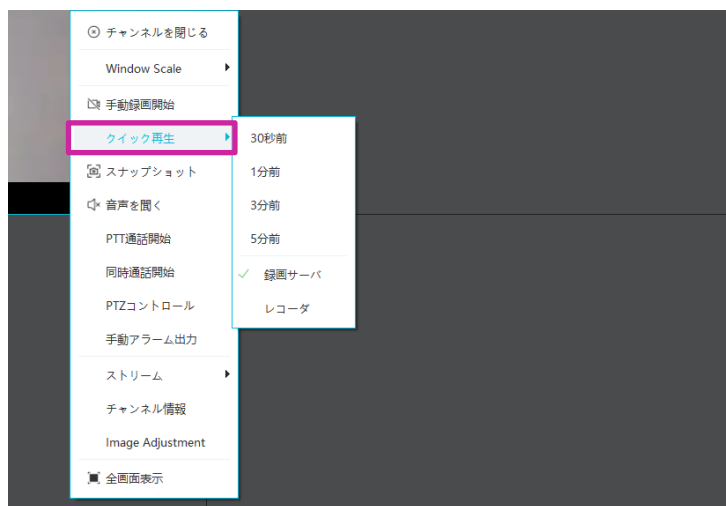
24 をクリックするとタイムスケールが24時間表示に戻ります。

タイムスケール拡大時に任意の録画時間に移動する場合はタイムスケールをドラッグします。

5.2.1. クイック再生

● クイック再生

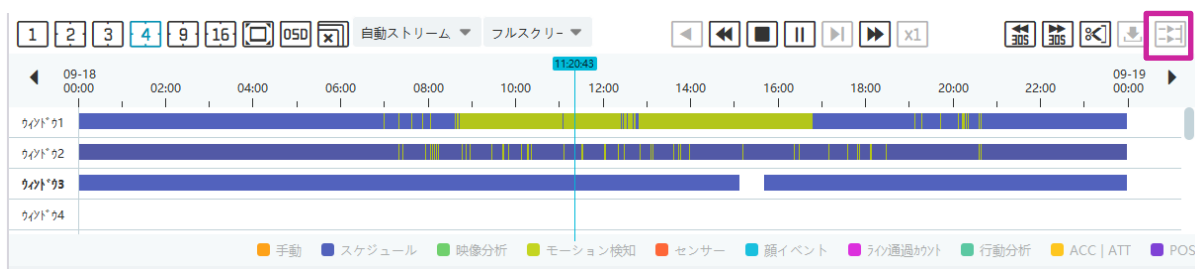
- 1) 「ライブビュー」画面で、映像表示中のウィンドウを右クリックします。
- 2) 右クリックメニューから [クイック再生] をクリックします。
- 3) 表示されたサブメニューの [30 秒前] ~ [5 分前] をクリックします。
選択した時間の録画データが検索され、録画データが存在する場合はその録画データがすぐに再生されます。
[録画サーバ] または [レコーダ] をクリックして、録画データの検索先を設定します。



5.2.2. 同期再生

同期再生は、選択したカメラ、日付と時間の、すべての録画データを同期した状態で再生します。
(録画データがないカメラの再生ウィンドウは待機します。)

「録画再生」画面のツールバーで  をクリックすると、下記の同期再生タイムスケールが表示されます。



同期再生では、1台のカメラに1つのウィンドウしか設定できません。

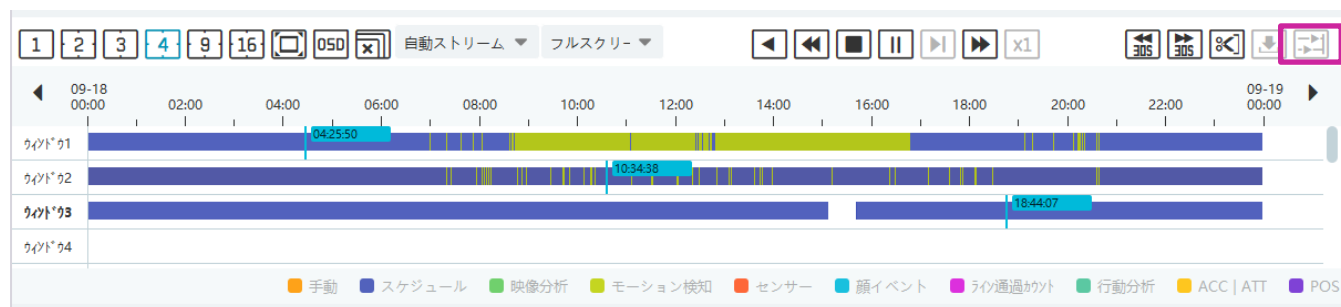
すべてのカメラの録画データを同時に表示できます。

録画データを同期再生または非同期再生する前に、すべてのウィンドウの録画再生を閉じてから  または  をクリックしてください。

5.2.3. 非同期再生

非同期再生は、選択したカメラ、日付と時間の録画データをそれぞれ個別に再生します。

「録画再生」画面のツールバーで  をクリックすると、下記の非同期再生タイムスケールが表示されます。



5.2.4. タイムスライス検索

- 1) [ホーム] → 〈録画の検索と再生〉内の[タイムスライス検索]をクリックします。
「タイムスライス検索」画面に移動します。



- 2) 〈デバイスグループ〉でデバイスを選択し、〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定します。
- 3) 録画ソース（録画サーバ/レコーダ）を選択して、[検索]をクリックします。
- 4) 検索された録画データの  をクリックします。

録画データが再生されます。

また、検索された録画データの  をクリックすると、「バックアップ」画面に移動します。
画面上部の「日ごとに分割」「時間ごとに分割」で分割方法を選ぶことができます。



5.2.5. イベント検索

- 1) [ホーム] → 〈録画の検索と再生〉内の [イベント検索] をクリックします。
「イベント検索」画面に移動します。



- 2) 〈デバイスグループ〉で目的のデバイスを選択します。
- 3) 〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定、再生する録画ソース（録画サーバ/レコーダ）を選択します。
- 4) [検索] をクリックします。
対象の録画データが一覧表示されます。
各録画データの [再生] をクリックすると録画データが再生されます。
各録画データの [バックアップ] をクリックすると録画データがバックアップされます。

5.2.6. タグ検索

- 1) [ホーム] → 〈録画の検索と再生〉内の [タグ検索] をクリックします。
「タグ検索」画面に移動します。

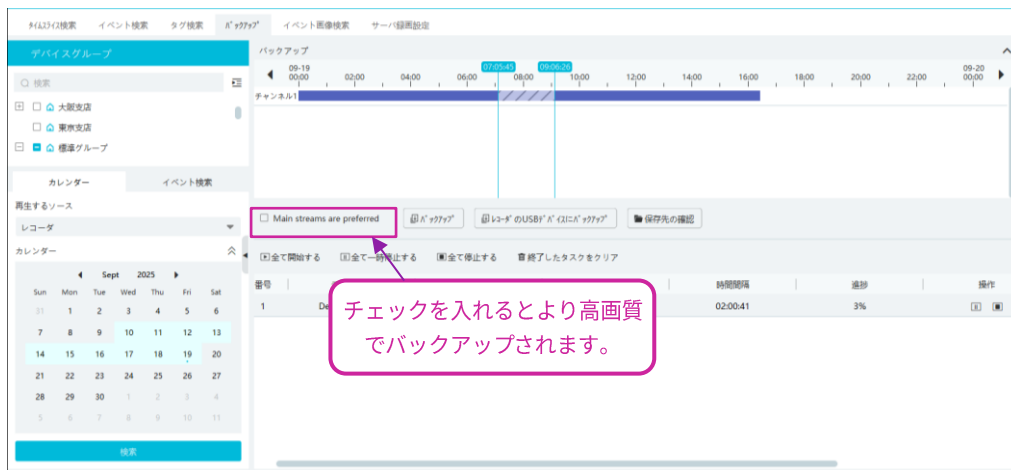


- 2) 〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定し、[検索] をクリックします。
対象の録画データが一覧表示されます。
各録画データの [再生] をクリックすると録画データが再生されます。
各録画データの [バックアップ] をクリックすると録画データがバックアップされます。

5.2.7. バックアップ

事前に〈ローカル設定〉（「13.1.ローカル保存設定」参照）で「バックアップの保存先」を設定し、「バックアップのファイル形式を〈MP4〉に設定してください。

- 1) [ホーム] → 〈録画の検索と再生〉内の[バックアップ]をクリックします。
「バックアップ」画面に移動します。
- 2) 〈デバイスグループ〉でバックアップを行うデバイスを選択します。
- 3) 日付を選択します。検索条件を指定の〈さらに検索〉をクリックして、録画モードを設定できます。
- 4) 録画ソース（録画サーバ/レコーダ）を選択します。
- 5) [検索]をクリックします。
録画データが検索されリストに表示されます。
- 6) [保存先の確認]をクリックして、バックアップ先のディレクトリを設定します。
レコーダに接続されたUSBメモリへバックアップを行う場合は、[レコーダのUSBデバイスにバックアップ]をクリックします。
- 7) バックアップの〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定して、[バックアップ]をクリックします。



バックアップの進捗状況は、録画データのバックアップ中に「バックアップ」画面の〈進捗〉列に表示されます。

〈操作〉列の[II]をクリックすると、録画データのバックアップを一時停止します。

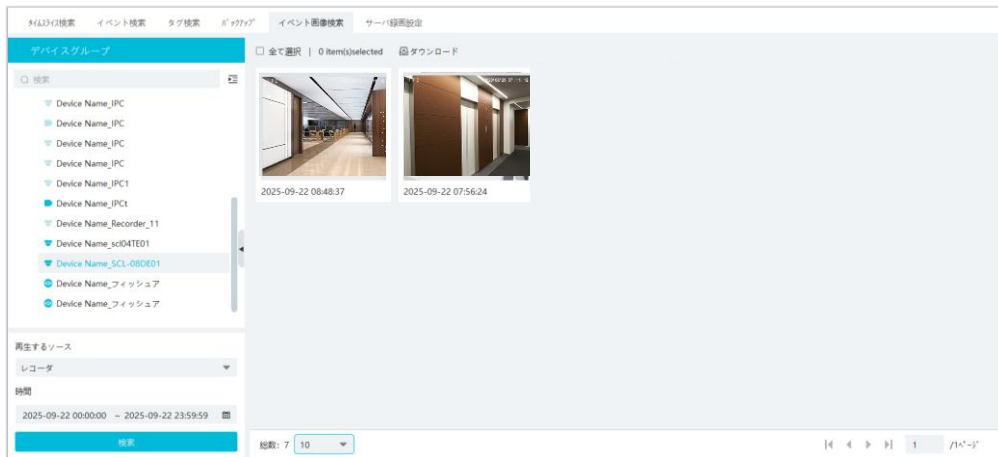
[■]をクリックすると、録画データのバックアップを停止します。

[🗑️]をクリックすると、バックアップのリストを削除します。

バックアップで取り出した録画データはWindows Media Playerで再生できないことがあります。
(無料でダウンロード可能な「VLCメディアプレイヤー」にて再生可能です。)

5.2.8. イベント画像検索

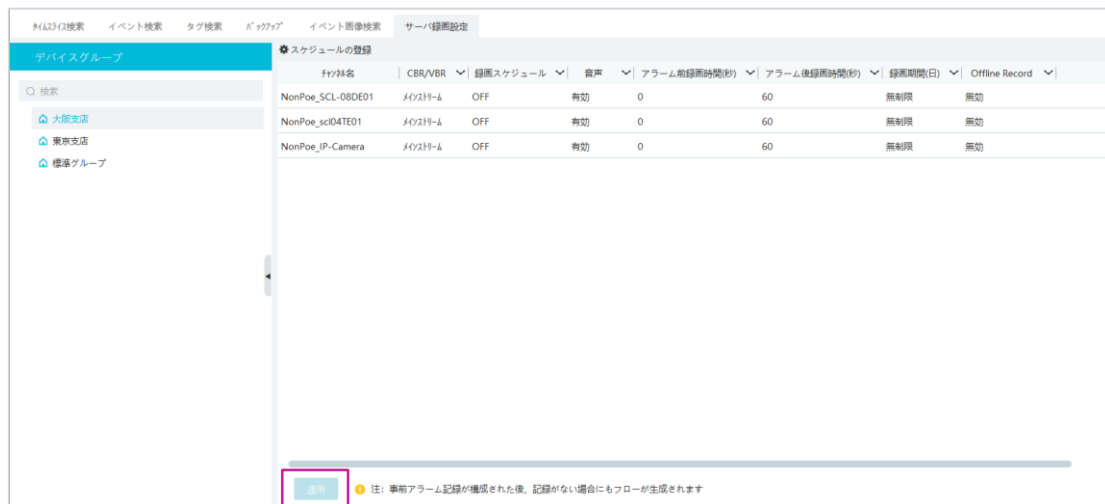
- 1) [ホーム] → 〈録画の検索と再生〉内の[イベント画像検索]をクリックします。
「イベント画像検索」画面に移動します。



- 2) 〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定し、再生するソース（録画サーバ/レコーダ）を選択します。
- 3) [検索]をクリックします。
対象の録画データが一覧表示されます。

5.2.9. サーバ録画設定

- 1) [ホーム] → 〈録画の検索と再生〉内の[サーバ録画設定]をクリックします。
「サーバ録画設定」画面に移動します。



- 2) 「サーバ録画設定」画面でチャンネル、CBR/VBR（ストリームタイプ）、および録画スケジュールを選択します。
- 3) 画面左下の[適用]をクリックします。
スケジュール録画の設定が保存されます。

5.2.10. スケジュール登録

- 1) [ホーム] → 〈録画の検索と再生〉内の「サーバ録画設定」画面にある[スケジュールの登録]をクリックします。
「スケジュールの登録」画面が表示されます。

スケジュールの登録

録画スケジュール

+追加

検索

7*24

5*24

New Schedule1

スケジュール名 7*24

Copy 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

日

月

火

水

木

金

土

保存 無効

- 2) 画面左上部の[追加]をクリックします。
- 3) スケジュールの名称を入力します。
- 4) スケジュールを登録し、[保存]をクリックします。

6. データダッシュボード

6.1. インテリジェントダッシュボード

- 1) [ホーム] → <データダッシュボード> 内の [インテリジェントダッシュボード] をクリックします。
- 2) 画面中央部に表示された [すぐに作成する] をクリックします。
- 3) 表示したい項目を選択し、右側のプレビューにドラッグします。



- 4) [OK] をクリックし、設定を保存します。

7. 人物管理

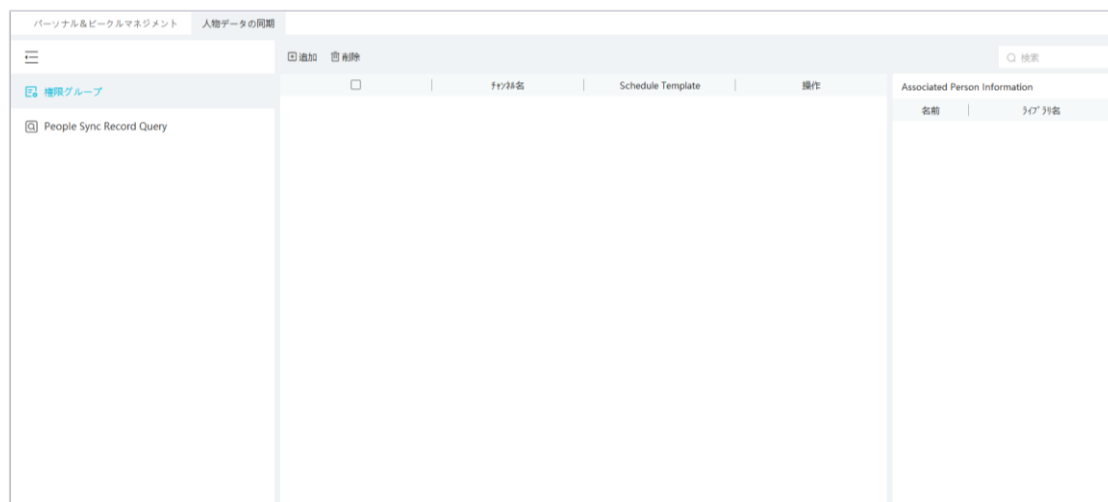
2つの項目（個人リスト、ブラックリスト）のグループを追加できます。

※弊社製品では「車両登録」は使用できません。

ここでは、例として〈個人リスト〉を記載します。

7.1. パーソナル&ビークルマネジメント

- 1) [ホーム] → 〈人物管理〉内の[人物データの同期] をクリックします。
「人物データの同期」画面に移動します。



- 2) 〈権限グループ〉内の[追加] をクリックします。



- 3) 〈チャンネル名〉、カメラを設定し [OK] をクリックします。
カメラに画像を転送した人物が検知領域に現れると、顔比較結果が送信されます。
- 4) [パーソナル&ピークルマネジメント] をクリックします。
「パーソナル&ピークルマネジメント」画面に移動します。



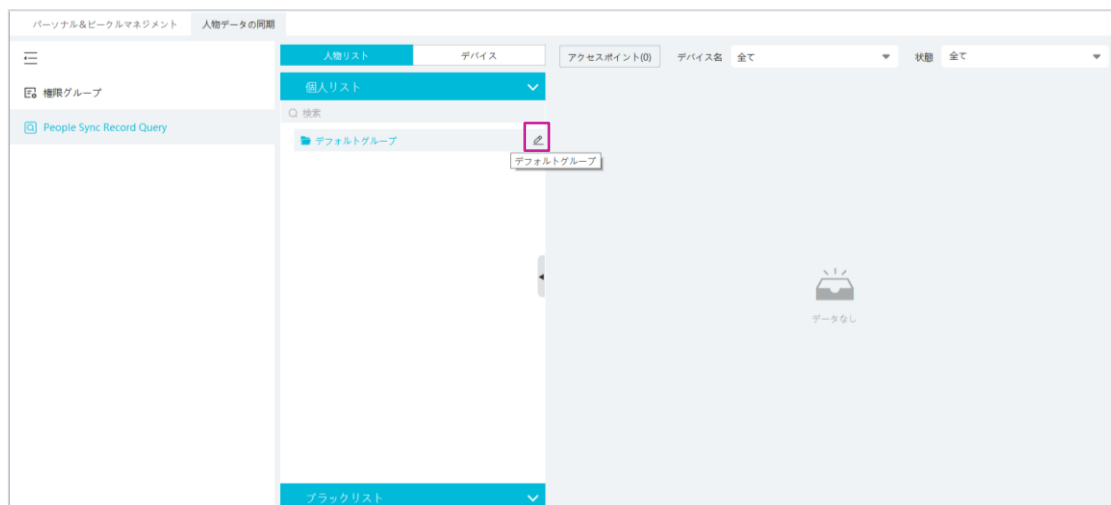
- 5)  をクリックします。
- 6) 〈チャンネル名〉、〈権限グループ〉を設定し、[OK] をクリックします。
- 7) [追加] をクリックします。

- 8) ターゲットの情報を設定し、[OK] をクリックします。

7.2. 人物データの同期

NVR と情報を同期すると、接続されたカメラでの検知が可能になります。

- 1) [ホーム] → 〈人物管理〉内の [人物データの同期] をクリックします。
「人物データの同期」画面に移動します。



- 2)  をクリックします。
- 3) カメラを設定し、[OK] をクリックします。

8. ユーザーアカウント設定

8.1. User/Role

- 1) [ホーム] → 〈ユーザーアカウント設定〉内の [User/Role] をクリックします。
「User/Role」画面に移動します。



デフォルトのシステム管理者アカウントがあります。システム管理者アカウントは削除できません。

- 2) 画面左上部の [Role] をクリックします。

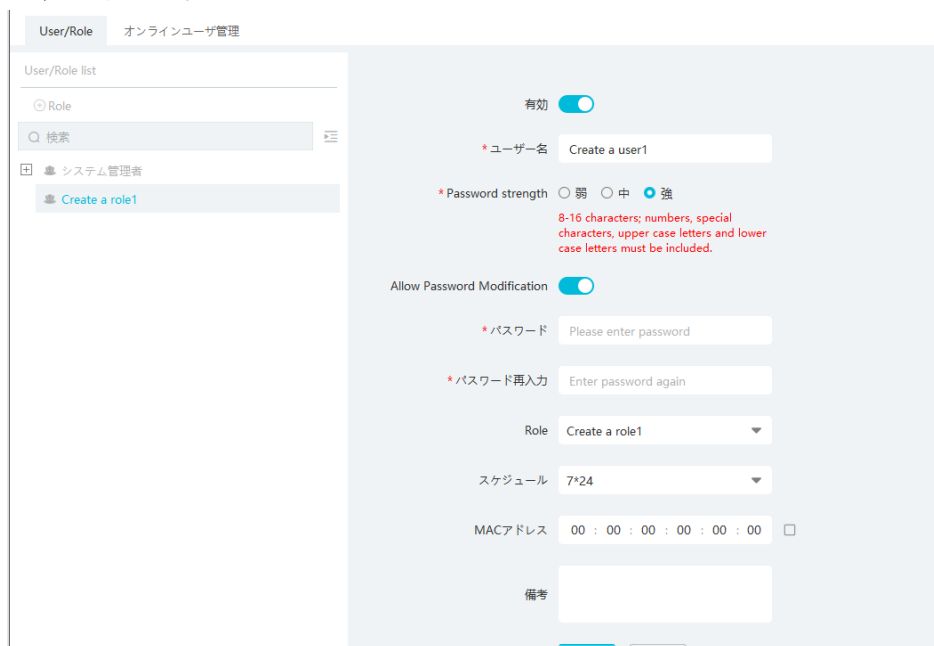


- 3) 必要に応じて〈Role name〉、〈Menu Permission〉、〈サーバ操作権限〉、〈デバイス操作権限〉、〈ビデオウォールの操作権限〉、〈人物ライブラリの操作権限〉を設定します。
- 4) [保存]をクリックします。
新しい権限グループが追加されます。

「User/Role」画面のリストで追加した権限グループをクリックすると、権限を編集できます。

 をクリックすると、追加した権限グループを削除できます。

- 5)  をクリックします。



- 6) 〈有効〉ボタンを有効にし、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 7) 〈Role〉欄右端の ▼ をクリックして、表示されたリストから権限グループを選択します（権限グループは事前に設定する必要があります）。〈MAC アドレス〉、〈備考〉は必要に応じて入力します。
- 8) 〈スケジュール〉欄右端の ▼ をクリックし、ユーザーがログイン可能な時間帯を設定します。
新たなスケジュールを設定するには、[ホーム] → 〈デバイス管理〉内の [タスク] 画面などにある、[スケジュールの登録]をクリックし、スケジュール登録を行ってください。
- 9) [保存] をクリックします。
設定した新しいユーザーアカウントが追加されます。

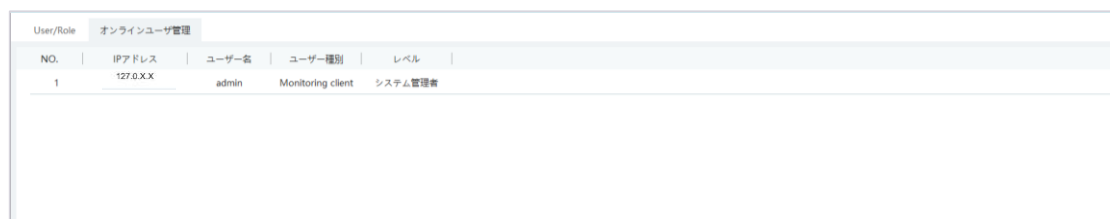
「User/Role」画面のリストで追加したユーザーをクリックすると、ユーザーアカウントを編集できます。

 をクリックすると、追加したユーザーアカウントを削除できます。

8.2. オンラインユーザ管理

このシステムは、サーバにログインするユーザーを管理できます。

- 1) [ホーム] → 〈ユーザーアカウント設定〉内の [オンラインユーザ管理] をクリックします。
「オンラインユーザ管理」画面に移動します。

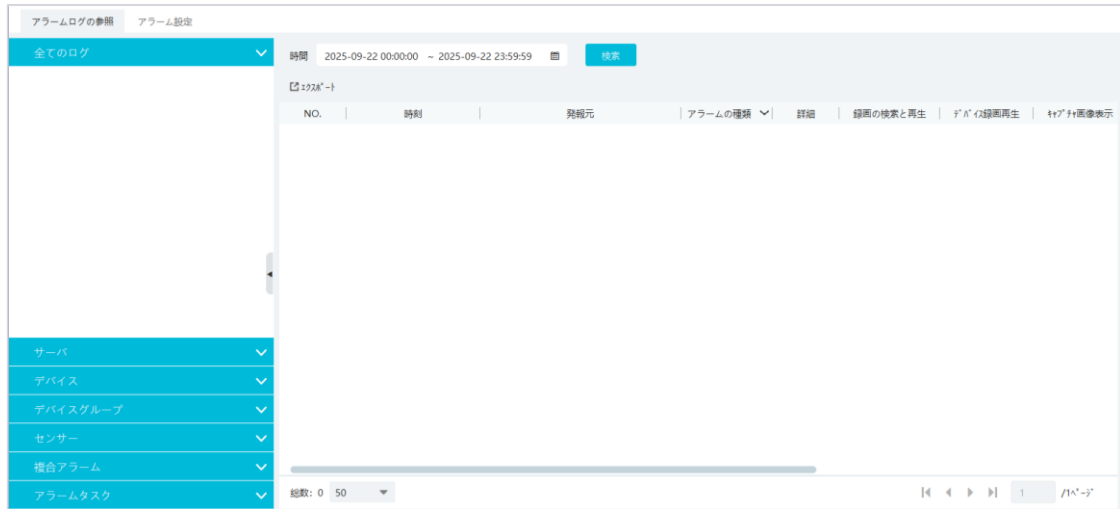


User/Role オンラインユーザ管理				
NO.	IPアドレス	ユーザー名	ユーザー種別	レベル
1	127.0.0.1	admin	Monitoring client	システム管理者

9. アラーム設定

9.1. アラームログの参照

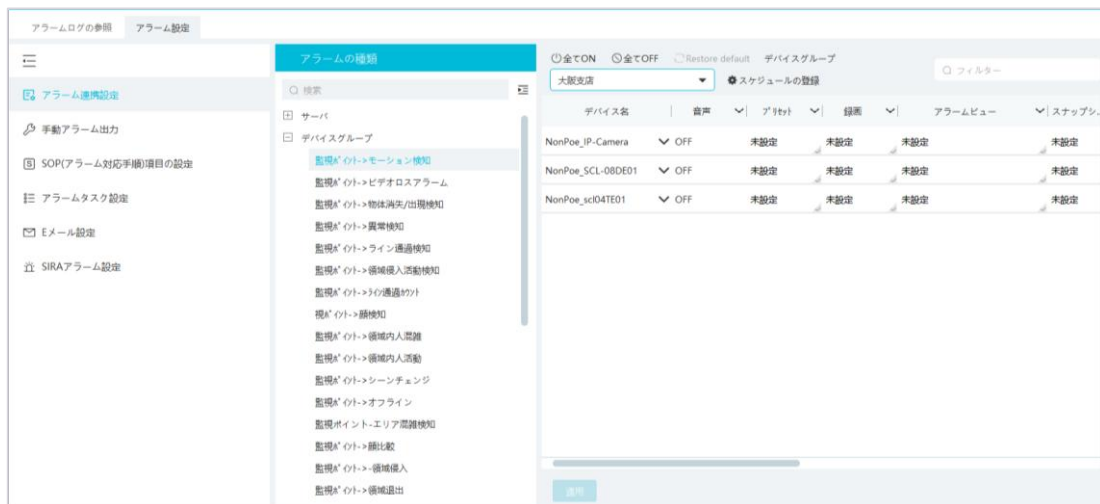
- 1) [ホーム] → 〈アラーム設定〉内の [アラームログの参照] をクリックします。
「アラームログの参照」画面に移動します。



- 2) 〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定し、[検索] をクリックします。
対象のログが一覧表示されます。
各ログの をクリックすると録画データが再生されます。
各ログの をクリックするとスナップショットを検索する画面が表示されます。

9.2. アラーム連携設定

- 1) [ホーム] → 〈アラーム設定〉内の [アラーム連携設定] をクリックします。
「アラーム連携設定」画面に移動します。



- 2) 〈デバイスグループ〉、〈アラームの種類〉を選択します。
- 3) 〈録画〉、〈アラームビュー〉、および〈スケジュール〉を設定します。
- 4) [適用] をクリックします。
アラーム連携設定が保存されます。

9.3. スケジュールの登録

- 1) [ホーム] → 〈アラーム設定〉内の [アラーム連携設定] をクリックします。
[スケジュールの登録] をクリックすると、「スケジュールの登録」画面が表示されます。

- 2) 画面左上部の [追加] をクリックします。
- 3) スケジュールの名称を入力します。
- 4) スケジュールを登録します。
時間のバー上でドラッグ操作するとスケジュールの時間の追加、削除ができます。
⚙️ をクリックすると、スケジュールの時間を手動で入力できます。

9.4. 手動アラームの出力

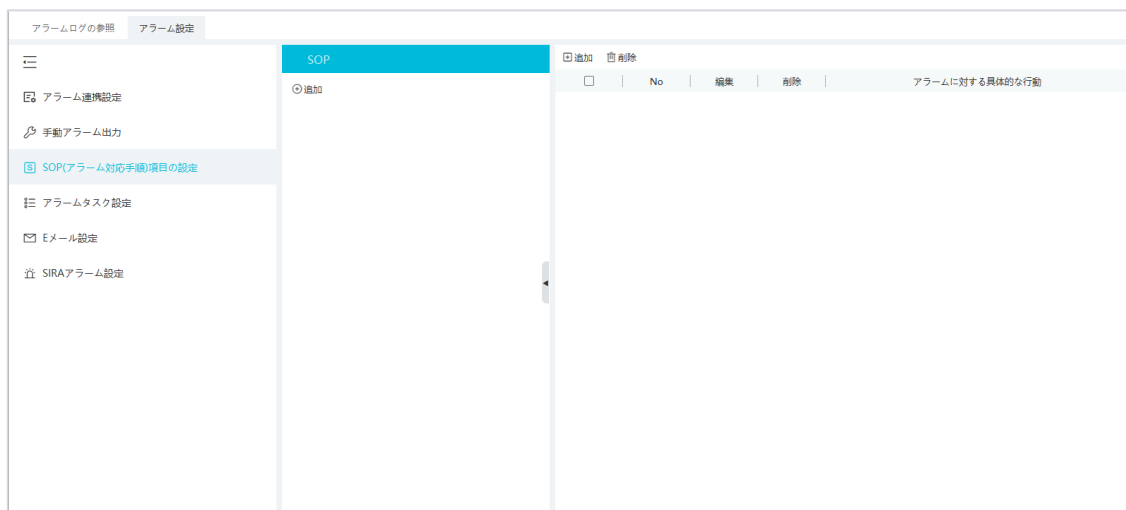
- 1) [ホーム] → 〈アラーム設定〉内の [手動アラーム出力] をクリックします。
「手動アラーム出力」画面に移動します。

- 2) カメラを選択し、〈通知持続時間〉を設定します。
- 3) [連携するアラーム機能] をクリックします。
カメラからアラームが出力されます。
[アラーム解除] をクリックすると、オフになります。

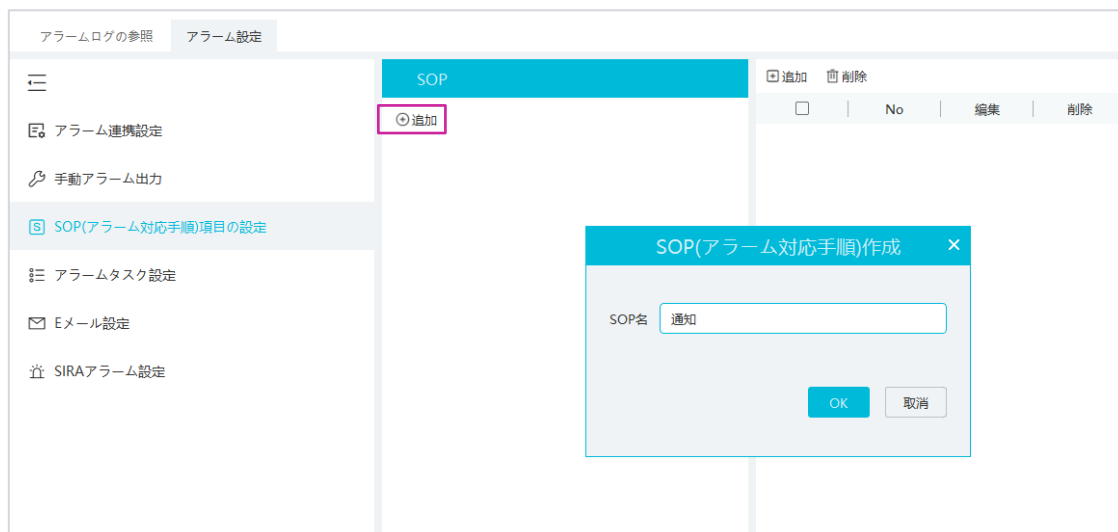
9.5. SOP（アラーム対応手順）項目の設定

本項目を設定すると事前に特定のアラームに対して行う手順を登録し、通知から確認することができます。

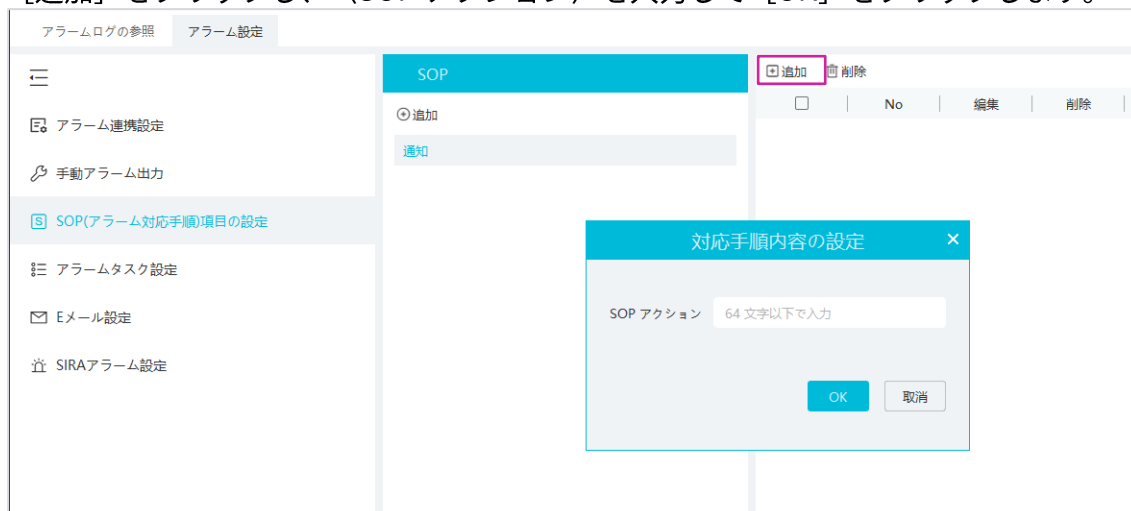
- 1) [ホーム] → <アラーム設定> 内の [SOP（アラーム対応手順）項目の設定] をクリックします。
「SOP（アラーム対応手順）項目の設定」画面に移動します。



- 2) [追加] をクリックし、<SOP 名> を入力して [OK] をクリックします。



- 3) [追加] をクリックし、<SOP アクション> を入力して [OK] をクリックします。



- 4) [ホーム] → <アラーム設定> 内の [アラーム連携設定] をクリックします。
- 5) 設定したいデバイス名のアラームイベントを選択し、<SOP> を有効にします。



9.6. アラームタスク設定

- 1) [ホーム] → <アラーム設定> 内の [アラームタスク設定] をクリックします。
「アラームタスク設定」画面に移動します。



- 2) [追加] をクリックし、<タスク名>、<実行間隔（分）>、スケジュールを設定し、カメラを選択します。
- 3) [OK] をクリックします。
- 4) [ホーム] → <アラーム設定> 内の [アラーム連携設定] をクリックします。
- 5) <アラームの種類> で <カメラ切断> を選択します。
- 6) <アラームプレビュー>、<スケジュール> を設定し、[適用] をクリックします。

9.7. E メール設定

設定したメールアドレスでアラーム情報を受信することができます。

- 1) [ホーム] → 〈アラーム設定〉内の [E メール設定] をクリックします。
「E メール設定」画面に移動します。

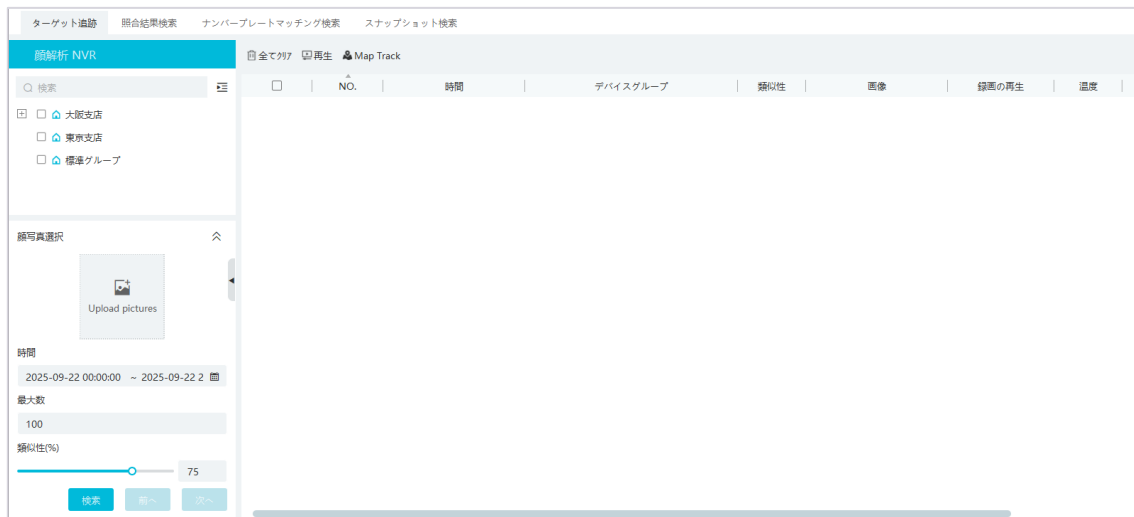
- 2) 〈送信者名〉、〈メールアドレス〉などを入力し、「適用」をクリックします。
設定が保存されます。
[追加] をクリックすると、受信者を追加することができます。
- 3) [アラーム連携設定] をクリックします。
- 4) 〈E メール送信〉で設定したメールアドレスを設定し、〈OK〉のチェックボックスにチェックを入れます。
- 5) [OK] をクリックします。

10.ターゲット検索

10.1. ターゲット追跡

10.1.1. 追跡リスト表示

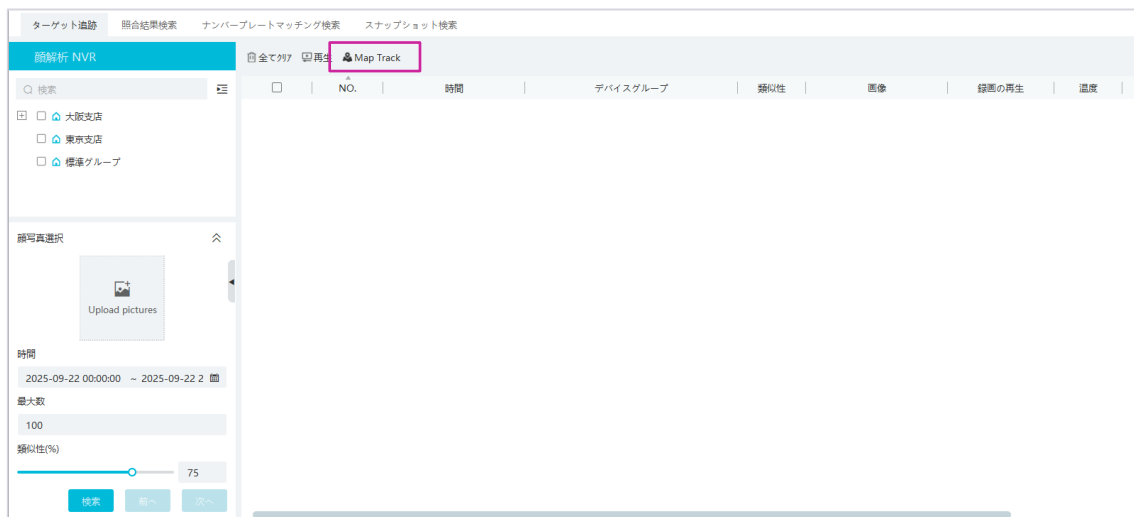
- 1) [ホーム] → 〈ターゲット検索〉内の [ターゲット追跡] をクリックします。
「ターゲット追跡」画面に移動します。



- 2) ターゲット追跡する顔写真を設定し、〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定します。
- 3) 〈最大数〉と〈類似性〉を設定し、[検索] をクリックします。

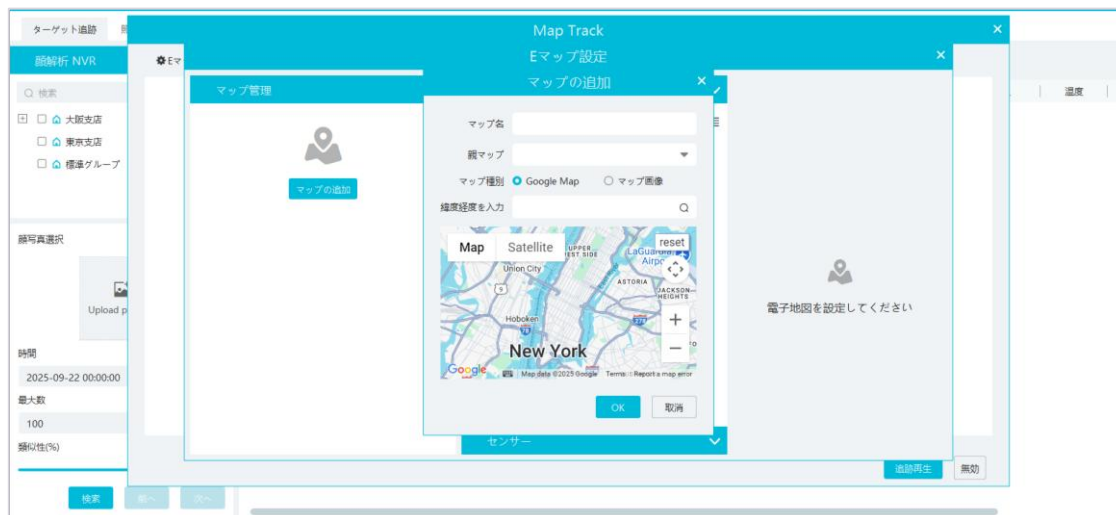
10.1.2. E マップ追跡表示

- 1) [ホーム] → 〈ターゲット検索〉内の [ターゲット追跡] をクリックします。
「ターゲット追跡」画面に移動します。
- 2) [Map Track] をクリックします。



- 3) [すぐに作成する] をクリックします。

- 4) 「マップの追加」をクリックし、マップを設定します。



10.2. 照合結果検索

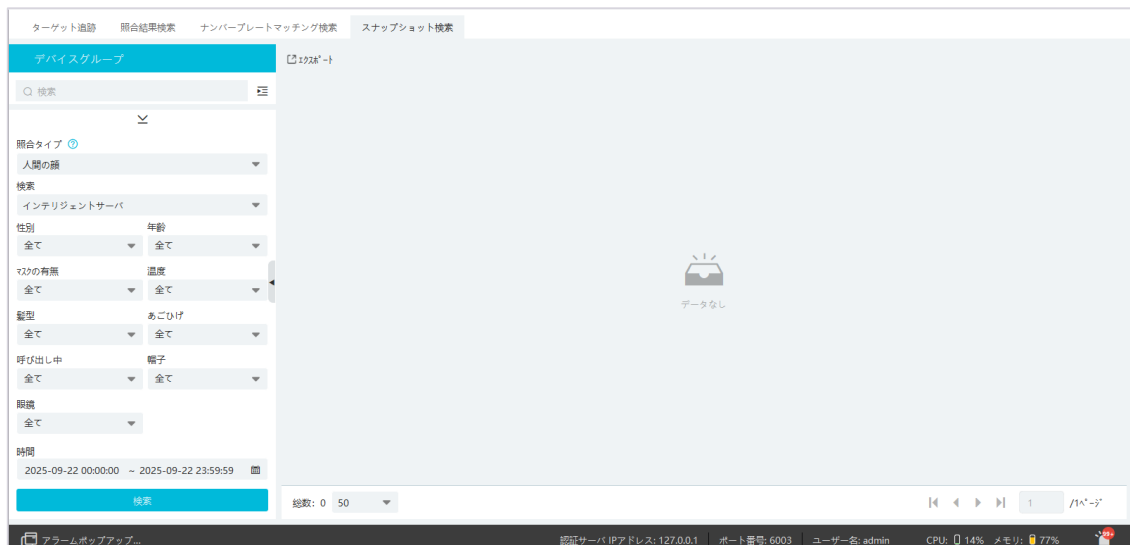
- 1) 「ホーム」→〈ターゲット検索〉内の「照合結果検索」をクリックします。
「照合結果検索」画面に移動します。



- 2) カメラを選択し、〈Query Method(検索方法)〉、〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定します。
3) 「検索」をクリックします。

10.3. スナップショット検索

- 1) [ホーム] → 〈ターゲット検索〉内の [スナップショット検索] をクリックします。
「スナップショット検索」画面に移動します。



- 2) カメラを選択し、〈照合タイプ〉、〈検索〉、その他の項目を設定します。
- 3) 〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定し、[検索] をクリックします。

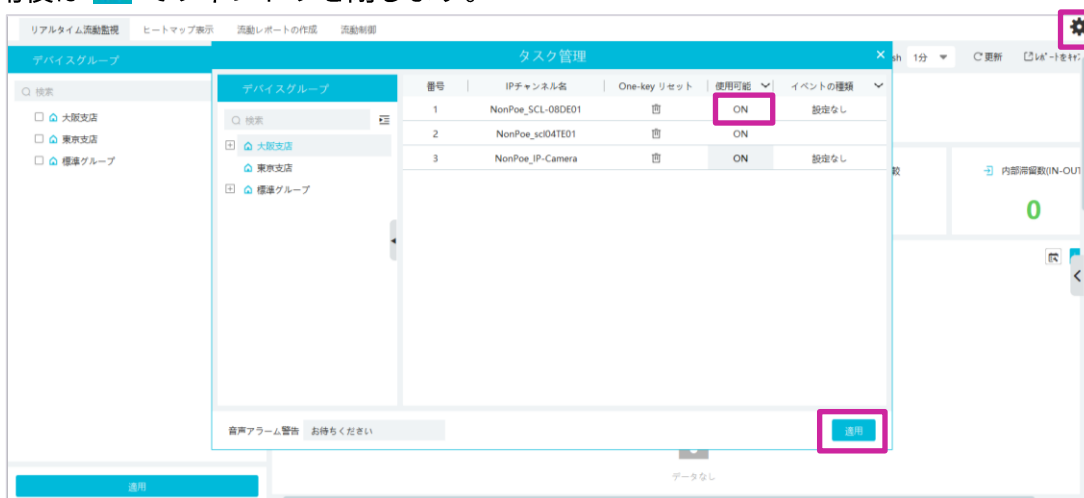
11. 流動監視と統計

11.1. リアルタイム流動監視

- 1) [ホーム] → 〈流動監視と統計〉内の[リアルタイム流動監視]をクリックします。
「リアルタイム流動監視」画面に移動します。



- 2) 画面右上部の  をクリックし、「タスク管理」のウィンドウで任意のカメラの「使用可能」を「ON」にし、[適用] をクリックします。
適用後は  でウィンドウを閉じます。



- 3) デバイスグループに追加されているカメラを選択し、[適用] をクリックします。

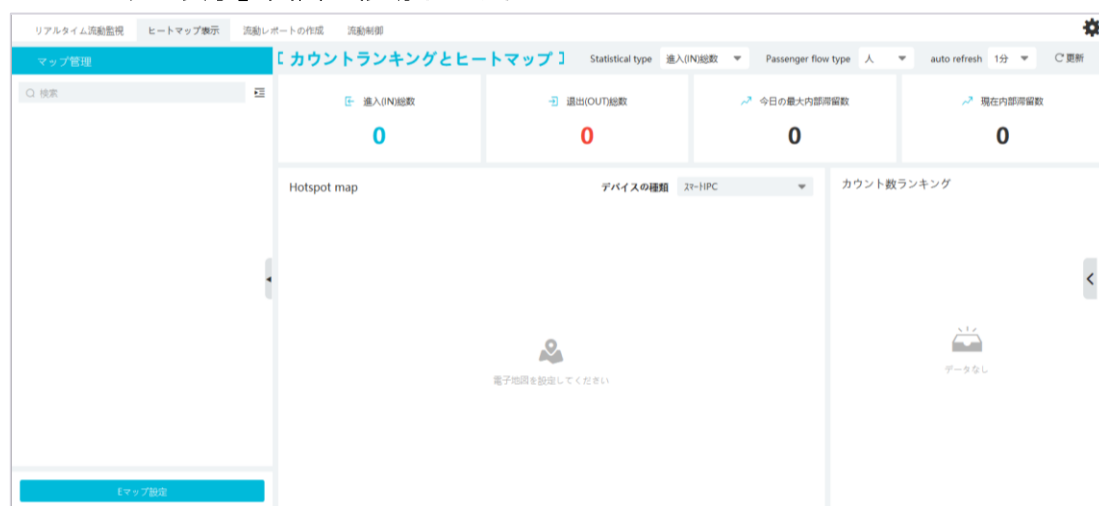


カメラにターゲットカウントなどのスマート検知を設定していると、グラフや数値が反映されます。

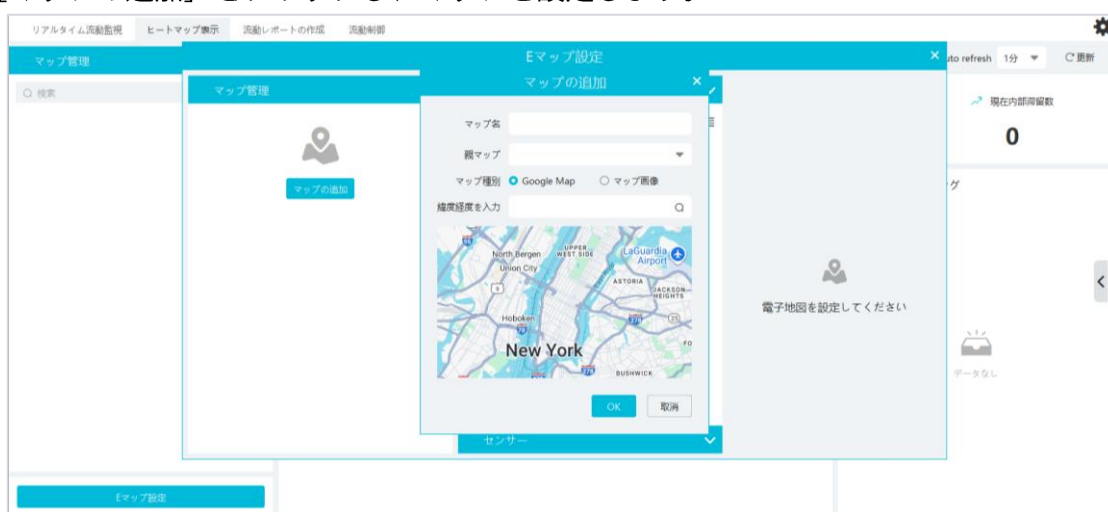


11.2. ヒートマップ表示

- 1) [ホーム] → 〈流動監視と統計〉内の[ヒートマップ表示]をクリックします。
「ヒートマップ表示」画面に移動します。



- 2) [Eマップ設定]をクリックします。
[マップの追加]をクリックし、マップを設定します。



- 3) 〈デバイスグループ〉から設定したい場所にカメラをドラッグします。

11.3. 流動レポートの作成

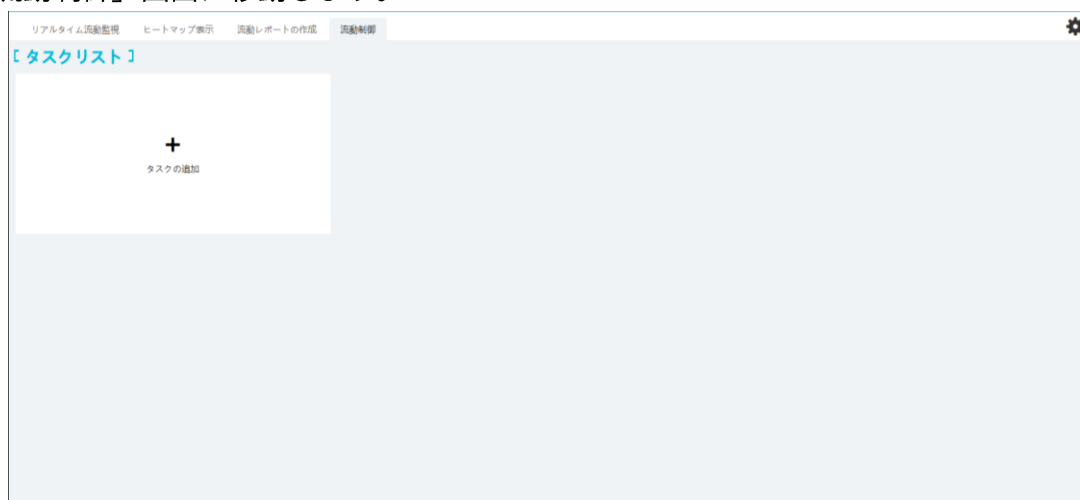
- 1) [ホーム] → 〈流動監視と統計〉内の〔流動レポートの作成〕をクリックします。
「流動レポートの作成」画面に移動します。



- 2) カメラを選択し、〈Statistical type (統計対象)〉、〈Report Type(レポート種別)〉、〈日時〉を設定します。
- 3) [検索] をクリックします。

11.4. 流動制御

- 1) [ホーム] → 〈流動監視と統計〉内の〔流動制御〕をクリックします。
「流動制御」画面に移動します。



- 2) + をクリックします。
- 3) 各項目を設定し、[OK] をクリックします。

12.運用とメンテナンスの管理

12.1. ログ検査

- 1) [ホーム] → 〈運用とメンテナンスの管理〉内の[ログ検査]をクリックします。
「ログの確認と出力」画面に移動します。
この画面ですべてのタイプのログを検索し、出力することができます。

ログ検索

設定のバックアップと復元

リアルタイムステータス

ステータスログ

時間

2025-09-24 00:00:00 ~ 2025-09-24 23:59:59

ログ種別

全てのログ

検索

1/238

1

NO.	メインタイプ	ログ記録時刻	ノード名	サブタイプ	ユーザ名	ユーザIPアドレス	詳細
1	ログ設定	2025-09-24 09:23:49	クライアント	ユーザーパラメーター	admin		ユーザー編集:名前user
2	ログ操作	2025-09-24 09:23:12	NonPoe_scl04TE01	映像視聴	admin	admin 192.168.1.12 5...	映像視聴: NonPoe_scl04TE01
3	ログ操作	2025-09-24 09:23:12	NonPoe_SCL-08DE01	映像視聴	admin	admin 192.168.1.12 5...	映像視聴: NonPoe_SCL-08DE...
4	ログ操作	2025-09-24 09:22:49	クライアント	システムメンテナンス	admin		ログ検索
5	ログ操作	2025-09-24 09:22:48	クライアント	システムメンテナンス	admin		ログ検索
6	ログ操作	2025-09-24 09:22:47	クライアント	システムメンテナンス	admin		ログ検索
7	ログ操作	2025-09-24 09:20:58	クライアント	Login/Logout	admin	admin 127.0.0.1 50:7B...	Login
8	例外ログ	2025-09-24 08:50:42	録画サーバー	サーバーバースティ...	なし	なし	

総数: 8 50

1 / 1238

- 2) 〈ログ種別〉を選択します。
- 3) 〈開始時間〉、〈終了時間〉を設定し[検索]をクリックします。
対象のログが検索されてリストに表示されます。
- 4) [エクスポート]をクリックすると、リストのログが出力できます。

12.2. 設定のバックアップと復元

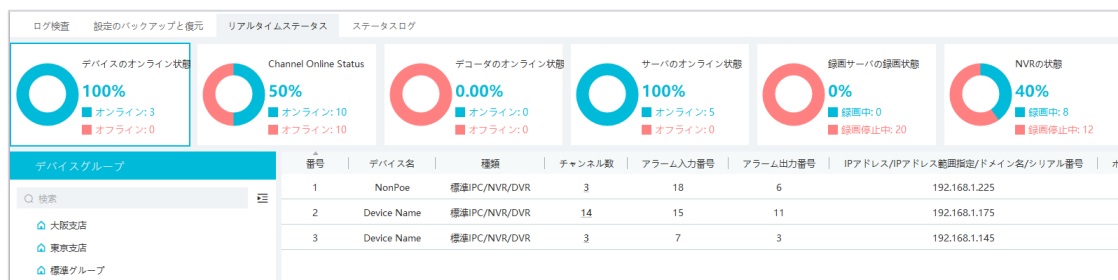
- 1) [ホーム] → 〈運用とメンテナンスの管理〉内の[設定のバックアップと復元]をクリックします。
「設定のバックアップと復元」画面に移動します。



- 2) [システム設定のバックアップ] をクリックします。
現在のシステム設定がバックアップされます。
- 3) [システム設定の復元] をクリックします。
バックアップデータからシステム設定が復元されます。

12.3. リアルタイムステータス

- 1) [ホーム] → 〈運用とメンテナンスの管理〉内の [リアルタイムステータス] をクリックします。
「リアルタイムステータス」画面に移動します。



接続しているデバイスの現在のステータスが表示されます。

12.4. ステータスログ

- 1) [ホーム] → 〈運用とメンテナンスの管理〉内の [ステータスログ] をクリックします。
「ステータスログ」画面に移動します。

The screenshot displays the 'ステータスログ' (Status Log) page. It shows a time range filter set to '2025-09-24 00:00:00 ~ 2025-09-24 23:59:59' and a search button. Below the filter is a table with columns: NO., 種類 (Type), ログ記録時刻 (Log Record Time), ノード名 (Node Name), and 詳細 (Details). The table lists 14 events:

NO.	種類	ログ記録時刻	ノード名	詳細
1	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:51:06	Device Name_02TE02	
2	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:51:06	Device Name_scl04TE01	
3	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:51:06	Device Name_SCL-08DE01	
4	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:51:06	Device Name_IPCt	
5	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:51:06	Device Name_01	
6	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:51:06	Device Name_フィッシュア	
7	エンコードデバイスオンライン	2025-09-24 08:51:06	Device Name	
8	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:51:00	Device Name_01	
9	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:51:00	Device Name_フィッシュア	
10	エンコードデバイスオンライン	2025-09-24 08:51:00	Device Name	
11	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:50:59	NonPoe_SCL-08DE01	
12	チャンネルオンライン	2025-09-24 08:50:59	NonPoe_scl04TE01	
13	エンコードデバイスオンライン	2025-09-24 08:50:59	NonPoe	
14	サーバオンライン	2025-09-24 08:50:41	映像転送サーバー	

 At the bottom, there is a pagination bar showing '総数: 41' (Total: 41) and a page number '1 / 14'.

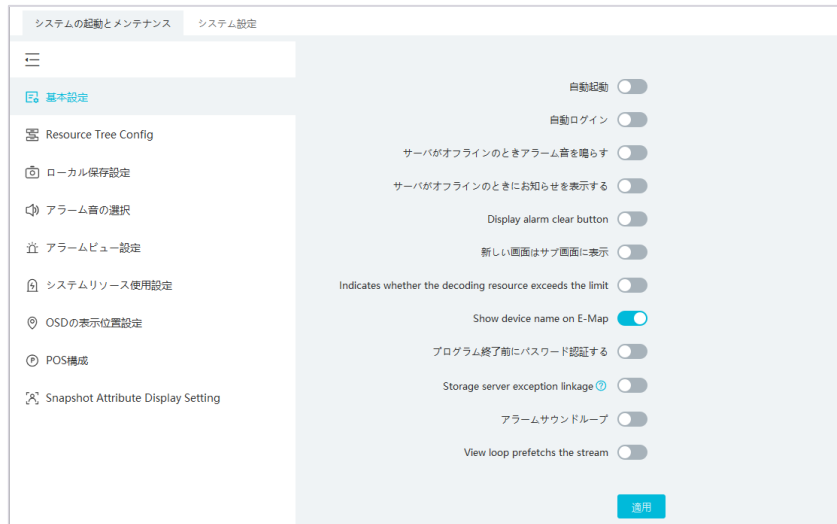
- 2) 〈開始時間〉、〈終了時間〉を設定して [検索] をクリックします。
ステータスログが検索されリストに表示されます。

13. ローカル設定

13.1. システムの起動とメンテナンス

13.1.1. 基本設定

- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
「システムの起動とメンテナンス」画面に移動し、[基本設定] をクリックします。



- 2) 各項目を設定して [適用] をクリックします。
変更した設定が反映されます。

設定例

自動起動：有効にすると、コンピューターの起動時にアプリケーションが自動的に実行されてシステムが起動します。

自動ログイン：有効にすると、次のアプリケーション実行時にシステムが自動的にログインします。

13.1.2. Resource Tree Config(デバイスツリー設定)

ライブビュー、録画の再生などで画面左部に表示されるデバイスツリーの表示設定を行います。

- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
「システムの起動とメンテナンス」画面に移動し、[Resource Tree Config(デバイスツリー設定)] をクリックします。



- 2) 各項目を設定して [適用] をクリックします。
変更した設定が反映されます。

13.1.3. ローカル保存設定

- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
「システムの起動とメンテナンス」画面に移動し、[ローカル保存設定] をクリックします。



- 2) 下記の項目を設定できます。
 - ・再生するソースの選択
 - ・手動録画データの保存パス
 - ・バックアップデータの保存パス
 - ・バックアップデータのファイル形式
 - ・スナップショットの保存パス
 - ・スナップショット数
 - ・「手動録画データ」と「バックアップデータ」の最大ファイルサイズ

13.1.4. アラーム音の選択

- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
「システムの起動とメンテナンス」画面に移動し、[アラーム音の選択] をクリックします。



13.1.5. アラームビュー設定

- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
「システムの起動とメンテナンス」画面に移動し、 [アラームビュー設定] をクリックします。



- 2) 各項目を設定して [適用] をクリックします。
変更した設定が反映されます。

13.1.6. システムリソース使用設定

このシステムは、CPU およびメモリの過負荷保護をサポートしています。
システムに過負荷が発生すると、新しいライブビュー表示と再生操作を制限し、過負荷の情報が表示されます。

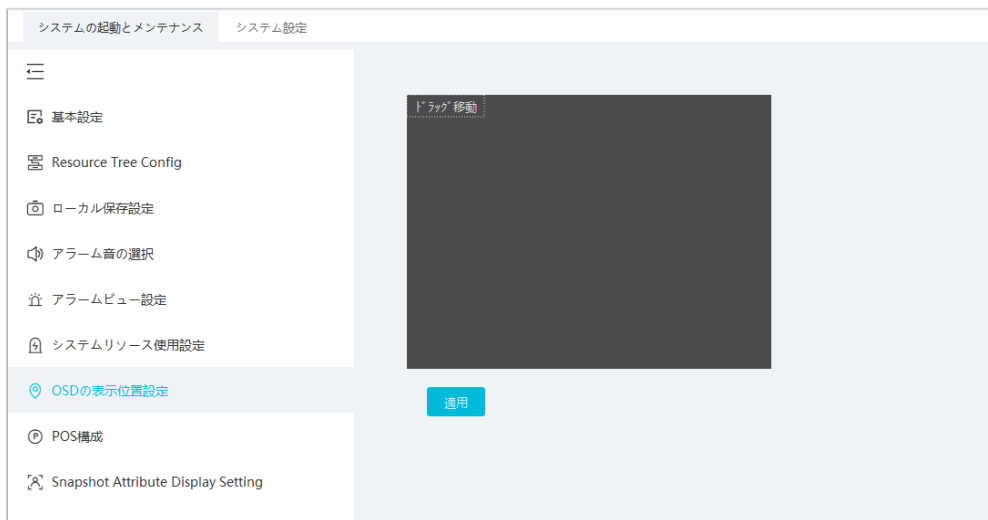
- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
「システムの起動とメンテナンス」画面に移動し、 [システムリソース使用設定] をクリックします。



- 2) 〈システム負荷上限〉の上限値を設定して [適用] をクリックします。
システムリソース使用設定が保存されます。

13.1.7. OSD の表示位置設定

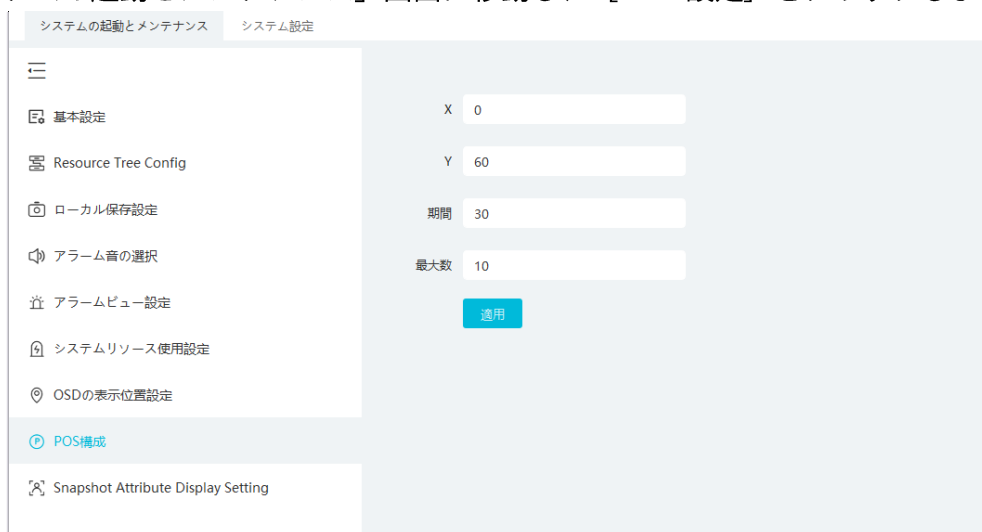
- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
「システムの起動とメンテナンス」画面に移動し、[OSD の表示位置設定] をクリックします。



- 2) OSD を表示したい位置まで **ドラッグ 移動** をドラッグし、「適用」をクリックします。

13.1.8. POS 構成

- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
「システムの起動とメンテナンス」画面に移動し、[POS 設定] をクリックします。



- 2) 各項目を設定して [適用] をクリックします。
変更した設定が反映されます。

13.1.9. Snapshot Attribute Display Setting(スナップショットの属性表示設定)

- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システムの起動とメンテナンス] をクリックします。
「システムの起動とメンテナンス」画面に移動し、[Snapshot Attribute Display Setting(スナップショットの属性表示設定)] をクリックします。

システムの起動とメンテナンス システム設定

Snapshot Attribute Display Setting

顔の属性 年齢;性別;眼鏡;マスクの有無;帽子;髪型 ▼

People 年齢;性別;眼鏡;マスクの有無;帽子;髪型 ▼

Vehicle Color;入退場 ▼

Target Box Setting

ターゲット追跡ボックスを表示する ☐

顔の属性 年齢;性別;眼鏡;マスクの有無;帽子;髪型 ▼

People 年齢;性別;眼鏡;マスクの有無;帽子;髪型 ▼

Vehicle Color;入退場 ▼

適用

- 2) 各項目を設定して [適用] をクリックします。
変更した設定が反映されます。

13.2. システム設定

13.2.1. システム設定

- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システム設定] をクリックします。
「システム設定」画面に移動します。

システムの起動とメンテナンス システム設定

システム名称表示

デバイスの同期 ☐ デバイスの同期 ☒ プラットフォーム時間の同期

サービス障害判別時間 1 分

ログを保持する期間: 365 日

Enable License Plate Synchronization ☐

⚠ If it is turned off, the system will not support the function of license plate synchronization

適用 リセット

- 2) 各項目を設定して [適用] をクリックします。
変更した設定が反映されます。

13.2.2. アラーム設定

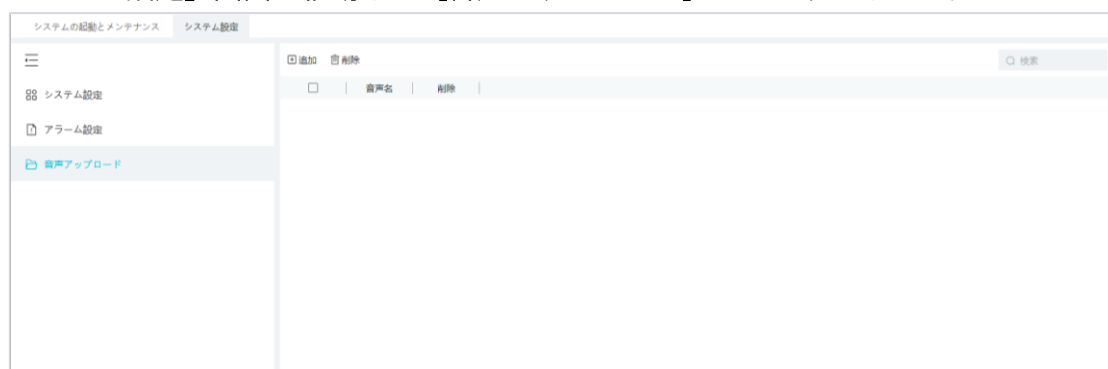
- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システム設定] をクリックします。
「システム設定」画面に移動し、[アラーム設定] をクリックします。



- 2) 各項目を設定して [適用] をクリックします。
変更した設定が反映されます。

13.2.3. 音声アップロード

- 1) [ホーム] → 〈ローカル設定〉内の [システム設定] をクリックします。
「システム設定」画面に移動し、[音声アップロード] をクリックします。



- 2) [追加] をクリックして、音声名を入力し音声ファイルを選択します。
- 3) [OK] をクリックします。
追加した音声ファイルが保存されます。

❖ お問い合わせについて

Secula 製品ご購入後のご質問は下記にて対応しております。

※ 非正規出荷品（Secula シリーズ）以外の場合はお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

※ 故障時の修理につきましては、お買い上げいただいた販売店様にお尋ねください。

ソリッドカメラ ホームページ



<https://www.solidcamera.net>

- ・ ソフトウェアまたは資料等のダウンロード
- ・ よくあるご質問

お問い合わせフォーム



<https://www.solidcamera.net/help/contact.html>

Secula サポート専用ダイヤル

0120-223-323（音声ガイダンス：2）

受付時間：午前9時～午後6時（土曜・日曜・祝日、夏季休暇・年末年始を除く）

困ったときはソリッドカメラで検索！

ソリッドカメラ **検索**

よくあるご質問・トラブルシューティングのほか、
さらに詳しい取扱説明書をダウンロードしていただけます。



NVMS 2.0 取扱説明書

2026 年 8 月 28 日 第 5 版発行